

平成 2 8 年度

越前市総合計画等達成度評価報告書

平成 2 9 年 5 月

越前市総合計画等達成度評価委員会

越前市長 奈良 俊幸 様

平成 28 年度越前市総合計画等達成度評価結果について（報告）

越前市総合計画等達成度評価委員会は、越前市総合計画等達成度の評価に関する越前市事務事業等評価委員会設置規則に基づき、越前市総合計画及び越前市総合戦略に掲げる政策の平成 28 年度における達成度について、市から提示された内部評価結果などを参考に審議を行い、市民の視点に立ってその達成度評価を実施しました。

この度、評価結果を取りまとめましたので報告いたします。

なお、市においては、本委員会の評価結果を市民に公表するとともに、市総合計画及び市総合戦略の効果的かつ効率的な推進に反映されるよう要望します。

平成 29 年 5 月 29 日

越前市総合計画等達成度評価委員会

委員長	藤	下	洸	養
委員	岡	川	聖	代
委員	河	合	洋	典
委員	田	中	希	世子
委員	堀	江	康	喜
委員	山	下	裕	己
委員	吉	田	雅	穂

目 次

1	はじめに	1
2	評価方法	2
3	評価結果	3
4	総合計画等達成度評価票	4
5	越前市総合計画等達成度評価委員会の開催経過	1 3
6	越前市総合計画等達成度評価委員会委員名簿	1 4
7	越前市総合計画等達成度の評価に関する 越前市事務事業等評価委員会設置規則	1 5

資料

越前市総合計画等達成度内部評価票〔平成28年度分〕

1 はじめに

総合計画等達成度評価を行って

越前市総合計画等達成度の評価を行って、ちょうど今年度で10年目となる。

その間、社会の急激な変化や、世界的規模で変化する経済の動向など、その対応に行政も苦闘し、莫大なエネルギーを費やしてきた。

越前市総合計画では、最初から「定住化の促進」を重点目標に掲げ、人口減少対策に力を注いできたが、27年度より、人口減少対策を更に強力に推進するために、越前市総合戦略（平成27～31年度）を策定し、人口減少に歯止めをかけるための5つの柱を基本目標とし、これに沿って施策を展開し、成果をあげるために全力をあげている。

越前市は、産業面において、越前和紙などの伝統産業から電子部品などの先端技術産業に至るまで、幅広い産業が集積し、製造品出荷額が福井県の中では第一位の「モノづくり都市」として発展を続けている。昨年度の実績でも、雇用増加数において目を見張るべきものがあるなど、越前市にとって誇れる一面であり、今後更なる発展が期待される活力源となっている。

現在、越前市は、新庁舎並びに複合施設（今立総合支所）の建設、武生中央公園の再整備、北陸新幹線南越駅（仮称）の周辺整備など、「半世紀に一度のまちづくり」を行っている。越前市が発展する絶好のチャンスと捉え、市民と協働でまちの活性化を図り、快適で住みよいまちづくり、安全で安心なまちづくりに全力を注ぐべきであると思う。

越前市がこの10年、状況の変化によく対応し、一步一步着実に前進してきたなかで、「半世紀に一度のまちづくり」が本格化した昨年度はまさに、躍進の息吹が感じられた年であった。今後は、まちづくりの整備から、さらに定住化の促進等につなげていかねばならない。そういう点では、行政は良くやっていると思う。そして、これは私の夢かもしれないが、市民の中に、幸福度日本一が実感できてくれば、それこそ行政評価の最高の到達点であろう。

我々評価委員は、市民を代表して、市民の目線に立って、慎重かつ大胆に、公平かつ総合的な観点に立って、厳正に行政の達成度に対する評価を行ったつもりである。

この評価が、市民にとって快適で住みよいまちづくりに、そして、安全で安心なまちづくりに、少しでも資することになれば、誠にうれしいことである。

越前市総合計画等達成度評価委員会
委員長 藤 下 洸 養

2 評価方法

評価にあたっては、委員全員が、市政運営、施策の展開状況等を委員会の狙いである市民の視点、観点に立って注視し、委員会での審議、評価に努めた。

評価は、市総合計画の平成28年度の政策の達成度について、実践プログラムに掲げる数値目標の達成度及び主要な事業の進捗状況等、市が提示した内部評価結果（※）を参考に、総合的な評価・検証を行ったものである。

市総合計画に掲げる5本のまちづくりの柱である「元気な産業づくり」「元気な人づくり」「快適で住みよいまちづくり」「安全で安心なまちづくり」「市民が主役のまちづくり」及び、市の行財政運営に関する柱の「地方分権に対応した行財政運営」それぞれの柱並びに政策、施策を評価対象として行った。

また、市総合戦略における「具体的施策の実施状況」及び数値目標・KPIを検証し、施策の進捗状況について評価した。

なお、評価結果は、次の4段階評価とし、それぞれに委員会としてのコメントを添えた。

- A：十分に達成された
- B：達成された
- C：達成度やや低い
- D：達成度が低い

※ 市が提示した内部評価票（別資料）は、次の4段階評価となっている。

- 4：十分に達成できた
- 3：達成できた
- 2：相当程度達成（達成まであとわずか）
- 1：達成には程遠い、もしくは目標に向かっていない

3 評価結果

まちづくりの柱	評価	まちづくりの柱 政策数	政策の評価（内訳）
元気な産業づくり	A	6 政策	A : 2 B : 4
元気な人づくり	A	9 政策	A : 5 B : 4
快適で住みよいまちづくり	B	5 政策	A : 2 B : 3
安全で安心なまちづくり	A	5 政策	A : 3 B : 2
市民が主役のまちづくり	A	4 政策	A : 2 B : 2
地方分権に対応した行財政運営	A	3 政策	A : 3 B : 0
全 体	A : 5 B : 1	32 政策	A : 17 B : 15

4 総合計画等達成度評価票

越前市総合計画等達成度評価票 <全体>

基本構想		総人口(年度末人口)								
		基準値	実績値							
重点目標	定住化の促進	H17.10	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
				87,742人	85,660人	85,569人	85,068人	84,487人	83,617人	83,614人

基本政策		達成度評価	
		達成度	コメント
まちづくりの柱	元気な産業づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> 各節ともに重要な施策であることは、承知しているが、特に第1節にある「工業の振興」は、本市における最重要課題と認識しており、第1章の中でも第1節の比重はかなり大きく、良く取組み、しかも成果が出ている。 商業の振興や森林づくりなど、課題が多い項目も、地道に取り組まれていることは評価できる。 農業については、学校給食で生産者と話をできる機会を設けていることは良いことである。また、今後は農工連携の取組みにも力を入れてもらいたい。
	元気な人づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> 昨年に引き続き、子どもの保育や教育に関する施策については、力強い取組みを感じることができた。今後は、中学生を対象にした学校図書館支援員の配置や、部活動をしていない中学生の居場所の確保等、中学生に重点を置いた取組みも強化してもらえると、ますます児童生徒教育の振興が図られる。 一方では、タブレットを利用した障がい者への窓口支援など良い取組みもあるが、障がい者や高齢者に対する取組みについても、力を入れて行ってもらいたい。
	快適で住みよいまちづくり	B	<ul style="list-style-type: none"> 計画を策定するだけでなく、どのように運用していくかが大切である。 住環境の整備、街路整備や上下水道の整備といった定住化の促進につながる施策と、ネットワーク型コンパクトシティの形成、さらには半世紀に一度のまちづくりが実施されているが、全ての施策が将来に結び付く、とても重要な取組みである。 コウトリをシンボルとした、豊かな自然環境を活かした魅力あるまちづくりと環境保全への取組みは、成果も着実に表れており、今後も期待したい。
	安全で安心なまちづくり	A	<ul style="list-style-type: none"> 外国人への防災への意識づけの取組みを強化してもらいたい。 ハード・ソフトの両方向から、防火および消火体制の検証をして、二度と大火がおこらない体制を目指してほしい。 消費者出前講座のメニューを検討し、魅力ある講座を作ってもらいたい。
	市民が主役のまちづくり	A	<ul style="list-style-type: none"> 市民自治の推進への取組みについて、今後も持続可能な市民活動に取り組んでもらいたい。 迅速に、タイムリーな情報発信に努めており、また、若者が接しやすいSNSを利用していることなど、情報発信には十分に取り組んでいると感じる。 市民自治の推進において、今後も外国人への対応策が重要と認識し、今後も取り組まれない。
	地方分権に対応した行財政運営	A	<ul style="list-style-type: none"> 行財政構造改革については、計画を新たに策定するなど、少しでも改善されるように取り組んでいる姿勢は、評価に値する。今後は、財政状況について市民視線で分かりやすい公表をお願いしたい。

越前市総合計画等達成度評価票 <まちづくりの柱別>

まちづくりの柱	元気な産業づくり	【達成度評価】	
		達成度	コメント
	活力と創造性に満ちた工業の振興	A	<ul style="list-style-type: none"> 女性の創業セミナー受講者29人は素晴らしい。受講者の中から、起業、創業する女性が増えていくことを期待している。 雇用の創出において、今後、女性のエンジニアが増えていくことが大切であるので女性がエンジニアを目指せるように取り組んでほしい。 小学生児童に実施している地元企業見学会はとても良い取組みである。 伝統工芸の担い手の減少は残念であるが、全体的には、課題解決のために良く取り組まれており、評価する。 工業は重要な産業であり、今立工業団地において、ナカヤ化学産業(株)や忠央容器(株)の立地への取組みは良い。
	魅力ある商業の振興	B	<ul style="list-style-type: none"> 小売業者の活性化促進で、重点エリアを設定し、魅力ある店舗づくりを支援する取組みは評価できる。 重点エリアで実施される空き店舗下見会には参加したい。 新庁舎の建設と中心市街地の商業活性化が一体となった取組みを期待している。 伴走型持続化補助金の制度は良い取組みである。 商業の振興に即効薬はなく、課題が多いが、平成29年度に課題をクリアしてもらいたい。
	出会いと感動のある観光の振興	B	<ul style="list-style-type: none"> 女性向けにスイーツ系(例:「こうのどりのたまご」)を開発し、越前市のグルメに加え、街中や蔵の辻等で販売し、気軽にティータイムができる場所づくりに活かしてもらいたい。 越前市が誇る3つの伝統工芸を活かした産業観光に力を入れて取り組んでもらいたい。 観光の重点エリアを設定し、観光の目玉を考え、それを波及して行ってほしい。 今もがんばっているが、なお一層の取組みをお願いしたい。
	地域資源を活かした農業の振興	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食における地元食材使用率の県内順位を指標として取り上げてほしい。 鳥獣害対策には課題もあるが、良く取り組んでいる。 学校給食で生産者と話をできる機会を設けていることは良いことである。
	みどり輝く森林づくり	B	<ul style="list-style-type: none"> 市民に森林活用に触れてもらうことは大事であり、金華山グリーンランドの利用者増加や、八ツ杉森林学習センターでの森林学習会実施は評価できる。 森林資源の活用は、市単独での取組みは難しいが期待する。 市木材利用拡大のための研究について期待している。
	いきいきと働きやすい環境の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> すくすくすまいる事業所登録数については、従業員数毎の内訳を記載するなど、細かな検証をお願いしたい。 製造業が多い中で、非正規雇用者や女性の雇用のことを考えると、いきいきと働きやすい環境の充実に対するハードルは高いと感じている。 去年は達成度Aであった。今年取組みが後退した感じはない。 第6節は、本来は企業側が用意すべき課題である。働き方改革等は企業が当たり前に取り組むべきである。 各企業に対し、市の取組みを周知し、指導も行ってもらいたい。 高専の卒業生の4割は県内に残るが、働きやすい環境が充実することで、さらに学生が地元に残ることに期待を込めたい。

	【達成度評価】	
	達成度	コメント
<p>元気な産業づくり</p> <p><総括> (再掲)</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・各節ともに重要な施策であることは、承知しているが、特に第1節にある「工業の振興」は、本市における最重要課題と認識しており、第1章の中でも第1節の比重はかなり大きく、良く取組み、しかも成果が出ている。 ・商業の振興や森林づくりなど、課題が多い項目も、地道に取り組まれていることは評価できる。 ・農業については、学校給食で生産者と話をできる機会を設けていることは良いことである。また、今後は農工連携の取組みにも力を入れてもらいたい。

越前市総合計画等達成度評価票 <まちづくりの柱別>

まちづくりの柱	元気な人づくり	【達成度評価】	
		達成度	コメント
	子どもの笑顔が輝く環境づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフト面でも十分対応していると感じているが、児童クラブについては、今後さらに利用が増えると思うので、保育士の加配、給与面での改善、外国籍児童への対応等を検討して、より充実したサービスになるようにしてもらいたい。 ・すくすくすまいる事業所登録申請書については、昨年度に要望したことを改善してもらった点は、評価できる。今後も、取組み事業所にすくすくすまいる事業を取り組んでみてどう思うか、などのコメントを記入してもらうようにするなど、労使双方方向に向けた働きかけをお願いしたい。 ・スマートフォンを活用した子育て支援のシステム構築をぜひやってもらいたい。
	安心して暮らせる長寿社会の実現	A	<ul style="list-style-type: none"> ・現状は、各施策よく取り組んでいると思われるが、今後、団塊の世代が後期高齢者になっていくことで、現状に満足することなくなお一層の努力が必要である。 ・区長や、つどいの会代表などに研修会を実施したとあるが、研修会を実施する場合は、アンケート等を行い、内容のレビューをして、行政からの一方的な施策にならないような工夫をするとより良いものが構築されるのではないかと。
	障がい者が安心して暮らせるまちづくり	B	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口でのタブレット端末を利用した対応ができる環境整備については、よい取り組みであると思う。 ・障害者差別解消法については国の求めた対応などはしていると思うが、まだ制度が始まったばかりでもあるので、引き続き取り組んでもらいたい。 ・昨年度の評価と比べると、強調すべき加点項目がない。
	健やかで元気に暮らせるまちづくり	B	<ul style="list-style-type: none"> ・国保税の収納率の向上については、今以上にできることを手を尽くしてやってもらいたくない。また、市民にも市の財政において、医療費が負担になっていることをもっと周知してもらいたい。
	助け合い、支え合う地域社会の形成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の役割を担うために福祉推進員を委嘱しているが、地域には介護サポーターや老人会等がいて、福祉推進員の自覚が少ないと思う。役割分担等を明確にすべきではないかと。

越前市総合計画等達成度評価票 <まちづくりの柱別>

まちづくりの柱	元気な人づくり	【達成度評価】	
		達成度	コメント
	人間力を高める教育の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボコンについては、参加することで、親子の対話が増えたなどの良い効果があった。また、小学生部門ができ、今後も中学生、小学生に広く浸透してもらえるような取り組みをお願いしたい。 ・学校図書館支援員は、小学校を対象にしているが、生徒の読書離れを解消するために、中学校も対象にすべきである。 ・地域活性化や若者の定着化に直結するために、若者の教育の施策をいれるべきである。成果指標はほぼ達成しているものが多いので、新たな目標を追加してもらいたい。
	主体的に学びを活かす生涯学習社会の実現	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今立地区の青年の活動や、南・吉野・神山・大虫地区合同のフェスティバル開催等の取組みは、地域で青年層が活躍できる機会を創出することでとても良いことである。今後は、他の地域にも広がっていくようになるとよい。 ・小学生の放課後の居場所作りは実施されているが、今後中学生に向けた取組みも取り入れてもらいたい。特に、中学生においては、先生の勤務時間が長くなるために、部活動の時間を減らしていくとの話もあると聞いている。部活動をしていない中学生の居場所の確保が必要である。
	誇れる歴史、芸術文化の創造	B	<ul style="list-style-type: none"> ・越前市に文化財がたくさん残っているが、残念ながら、それらをうまく活用する、または、情報の発信力が弱いと感じる。また、文化財の保護について、県や国の管理にするためにも、活用方法を考えていく必要がある。 ・総社大神宮の近くに、国府の碑があるが、あまり知られていないのではないかと。JR武生駅の近辺におけば、歴史と文化のまち越前市のPRとなるのではないかと。
	生涯スポーツのまちづくり	B	<ul style="list-style-type: none"> ・越前市のスポーツ施設を利用する場合、越前市民は安く利用でき、他市の利用者は高い使用料である。利用率の低いスポーツ施設は、他市の利用者にあえて低い利用料で開放すると、利用率が伸びるのではないかと。 ・スポーツではないかもしれないが、越前市は川崎名人、三好準名人を輩出しており、カルタ王国としてPRしていることは素晴らしい。ぜひ今後もカルタ王国を積極的に売り込んでもらいたい。 ・カルタは教育として立派な精神修行であり、文化である。カルタ大会が行える和室を備えた施設を作るなど、カルタ育成にもっとお金をかけてもいいのではないかと。
	元気な人づくり <総括> (再掲)	A	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年に引き続き、子どもの保育や教育に関する施策については、力強い取り組みを感じる事ができた。今後は、中学生を対象にした学校図書館支援員の配置や、部活動をしていない中学生の居場所の確保等、中学生に重点を置いた取組みも強化してもらえると、ますます児童生徒教育の振興が図られる。 ・一方では、タブレットを利用した障がい者への窓口支援など良い取組みもあるが、障がい者や高齢者に対する取組みについても、力を入れて行ってもらいたい。

越前市総合計画等達成度評価票 <まちづくりの柱別>

まちづくりの柱	快適で住みよいまちづくり	【達成度評価】	
		達成度	コメント
	秩序ある土地利用の推進	B	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかの活性化が重要である。市の説明会や出前講座を実施するときにアンケートを取って、市民ひとりひとりの声を聞いていかないと、今後生き残れないと感じる。ぜひアンケートを実施していただきたい。 ・都市計画マスタープランと立地適正化計画が策定されたことで、越前市が目指すまちづくりの方向性が示された。今後は、コンパクトシティを目指すことになるが、中心市街地以外の周辺部に関して、まちづくりがマイナスにならないよう取組んでほしい。 ・計画を立てることが目標ではなく、これからどのように進めていくかが評価になるので更なる取組みを期待している。
	コンパクトで機能的な都市構造の形成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・各施策の数値が上昇しており、評価できる。 ・中心市街地活性化の施策により、まちなかへの定住化がみられ、減少傾向が緩やかになっていることは評価できる。 ・空き家など、不動産所有者が個人の高齢者である場合もあり、おうちナビからの情報発信を待つだけではなく、その人たちにおうちナビを活用した情報発信を促すことが必要だと感じる。 ・中心市街地以外のエリアでも、今後人口が増える取組みを継続することが大事である。
	うるおいのある住環境の創出	A	<ul style="list-style-type: none"> ・定住化の促進には、住環境の整備が不可欠であり、どの施策も、地道で着実な取組みが求められるが、成果があがっており評価できる。 ・武生中央公園の再整備が進んでおり、市民として完成を楽しみにしている。 ・多世代同居は、財政やまちづくりなど、二重、三重の効果がある。多世代同居を促進する支援や取組みを継続していただきたい。
	快適な交通体系の整備	B	<ul style="list-style-type: none"> ・福武線の利用者が、前年度比102.1%になったことは凄いことで高評価に値する。内部評価を見ると、前年度4だったものを今回3と下げているが、厳しい評価だと思う。 ・福武線の利用者増について、時間帯や曜日による利用者数の分析も必要である。また、乗客の快適性も考える必要があるので、働きかけを行ってほしい。 ・通学路の歩道にグリーンラインが設置されたが、グリーンラインの意味を理解することと合わせ、除雪された雪によってラインが隠れてしまわないよう、沿線住民と一緒に取り組むことが必要である。
	環境にやさしいまちづくり	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ減量化推進やリサイクルへの取組みは他の市町より先進的に取組まれ、十分評価できる。 ・コウノトリの舞う里づくりに伴ったコウノトリを通しての環境学習は、越前市の特徴であり評価できる。
	快適で住みよいまちづくり	【達成度評価】	
		達成度	コメント
	快適で住みよいまちづくり <総括> (再掲)	B	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を策定するだけでなく、どのように運用していくかが大切である。 ・住環境の整備、街路整備や上下水道の整備といった定住化の促進につながる施策と、ネットワーク型コンパクトシティの形成、さらには半世紀に一度のまちづくりが実施されているが、全ての施策が将来に結び付く、とても重要な取組みである。 ・コウノトリをシンボルとした、豊かな自然環境を活かした魅力あるまちづくりと環境保全への取組みは、成果も着実に表れており、今後も期待したい。

越前市総合計画等達成度評価票 <まちづくりの柱別>

まちづくりの柱	安全で安心なまちづくり	【達成度評価】			
		達成度	コメント		
政 策	地域が支える防災体制の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マップの作成率もあと、わずかとなっているなど、地域での防災の意識付けの取組みをされている。今後は、外国人に対して、勤務先の企業に働きかけたり、避難訓練などに参加を促すなど、取組みを強化してもらいたい。 ・防災士については、各地区にまんべんなくいるとのことだが、今後は、継続教育を充実してもらいたい。 		
	郷土を守る治山・治水対策の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> ・予算のかかる事業であるが、一旦災害が起こると甚大な被害が予想されるので、計画的に確実に推進してもらいたい。 		
	地域ぐるみの防犯対策の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの見守りについては、取組みの強化がされていて、今後も継続してもらいたい。 ・不審者情報については、一昔前よりも件数が減ってきていると思うが、警察まで数字が上がっていかなくて、潜在的なものもあるかもしれないので、数字を鵜呑みにせず、気をつけてもらいたい。 		
	消防・救急体制の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> ・蓬萊町の大火を反省して、内部評価を行っているが、消防救急体制への取組みについては、十分されている。ただし、大火が起きたことは教訓として、ますますの取組みをお願いしたい。 ・まちなかでも空き家が増えてきている。空き家の防火対策についても強化してもらいたい。 		
	暮らしの安全の向上	B	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者出前講座のメニューについて、ネットオークションのトラブル等、被害者にならないことと同時に、加害者にもならないことを促す講座を作るなど、再び参加者が増えるものと考えてもらいたい。潜在的な被害は増えているかもしれない。 ・交通安全について、グリーンベルトの設置を周辺住民に伝えてもらい、地域で交通安全意識の向上につながるようにしたい。 		
	安全で安心なまちづくり <総括> (再掲)		<th colspan="2">【達成度評価】</th>	【達成度評価】	
		達成度	コメント		
		A	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人への防災への意識づけの取組みを強化してもらいたい。 ・ハード・ソフトの両方向から、防火および消火体制の検証をして、二度と大火がおこらない体制を目指してほしい。 ・消費者出前講座のメニューを検討し、魅力ある講座を作ってもらいたい。 		

越前市総合計画等達成度評価票 <まちづくりの柱別>

まちづくりの柱	市民が主役のまちづくり	【達成度評価】	
		達成度	コメント
政策	市民自治の推進	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献活動支援については、学生の活動も含め、今後も発展できるように支援を充実していただきたい。 ・地域のコミュニティをますます充実していただきたい。 ・空き家・空き店舗を有効活用した施策を推進してほしい。
	市民交流の推進	B	<ul style="list-style-type: none"> ・友好都市の交流についてマンネリ化している感がある。 ・外国人がいる町内でのゴミステーションの管理がうまくできていないところがあり、外国人に対して分かりやすい説明や表記をお願いしたい。
	人権尊重と男女共同参画社会の実現	B	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の推進について、越前市は積極的に取り組んできた。他自治体の先導的役割を担ってほしい。 ・女性を登用することについては、女性が参加することも大切であるが、女性目線から発信をし続けることの重要性を認識してもらうために、意識改革が必要だと思う。
	情報の共有化の推進	A	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページで「課トピックス」と市公式フェイスブック「いいね！越前」を立ち上げ、積極的に情報発信している点は評価できる。 ・市ホームページのアクセス数が飛躍的に伸びるなど、情報発信には十分に取組まれている。このアクセス数を減らさないように今後も取り組んでもらいたい。
	市民が主役のまちづくり <総括> (再掲)	【達成度評価】	
		達成度	コメント
		A	<ul style="list-style-type: none"> ・市民自治の推進への取組みについて、今後も持続可能な市民活動に取り組んでもらいたい。 ・迅速に、タイムリーな情報発信に努めており、また、若者が接しやすいSNSを利用していることなど、情報発信には十分に取組んでいると感じる。 ・市民自治の推進において、今後も外国人への対応策が重要と認識し、今後も取り組まれない。

越前市総合計画等達成度評価票 <まちづくりの柱別>

まちづくりの柱	地方分権に対応した行財政運営	【達成度評価】	
		達成度	コメント
政策	自立した行財政運営の確立	A	<ul style="list-style-type: none"> ・民間であれば貸借対照表がないと業績判断ができない。市民の視点でいえば、貸借対照表をあげてほしい ・5期比較を行ってほしい。民間企業なら一般的である。国からの基準が示されていないけれども、越前市で取り組んでもほしい。
	行政の広域化への対応	A	<ul style="list-style-type: none"> ・特別徴収がほぼ義務化されているが、越前市は振替納税をしているが、福井市や坂井市はまだ取り組んでいない。越前市だけで取り組むのではなく、まだの自治体にも取り組んでもらえるようにしてほしい。
	電子自治体の推進	A	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーにいろいろな機能がついてきた時に、今のセキュリティでは不安な部分もある。
地方分権に対応した行財政運営 <総括> (再掲)		【達成度評価】	
		達成度	コメント
		A	<ul style="list-style-type: none"> ・行財政構造改革については、計画を新たに策定するなど、少しでも改善されるように取り組んでいる姿勢は、評価に値する。今後は、財政状況について市民視線で分かりやすい公表をお願いしたい。

5 越前市総合計画等達成度評価委員会の開催経過

年月日	会議等	内容等
平成 29 年 4 月 21 日(金)	第1回達成度評価委員会	1 総合計画等達成度内部評価結果の説明 2 審議（評価の実践） 元気な産業づくり
平成 29 年 4 月 27 日(木)	第2回達成度評価委員会	1 審議（評価の実践） 元気な人づくり
平成 29 年 5 月 11 日(木)	第3回達成度評価委員会	1 審議（評価の実践） 快適で住みよいまちづくり 2 現地視察 ・紙の文化博物館 ・武生東公民館 ・武生中央公園総合体育館及び武生中央公園再整備
平成 29 年 5 月 18 日(木)	第4回達成度評価委員会	1 審議（評価の実践） 安全で安心なまちづくり 市民が主役のまちづくり 地方分権に対応した行財政運営
平成 29 年 5 月 29 日(月)	評価結果の市長報告	1 委員会から評価結果の市長報告

6 越前市総合計画等達成度評価委員会 委員名簿

◎委員長

氏 名	役 職 等
岡 川 聖 代	西母親クラブ会長 越前市地方創生に関する有識者会議
河 合 洋 典	武生青年会議所元理事長 カワイ株式会社専務取締役 市本庁舎建設市民検討委員会委員
田 中 希世子	税理士・社会保険労務士 市指定管理者評価委員 市下水道施設維持管理業務包括委託審査懇談会委員 市下水道事業推進対策協議会委員
◎ 藤 下 洸 養	元市教育委員会委員長 市総合計画基本計画改定懇話会座長 市今立総合支所建設市民検討委員会委員長 唯宝寺住職
堀 江 康 喜	日本政策金融公庫 武生支店 支店長
山 下 裕 己	福井新聞社参与特別論説員
吉 田 雅 穂	独立行政法人 国立高等専門学校機構 福井工業高等専門学校 環境都市工学科教授 H27 市産業活性化プラン改定有識者会議委員

(敬称略：五十音順)

7 越前市総合計画等達成度の評価に関する越前市事務事業等評価委員会設置規則

(設置)

第1条 越前市総合計画及び越前市総合戦略の達成度の評価に関する調査審議を行うため越前市附属機関設置条例（平成24年越前市条例第2号）第2条の規定に基づき、越前市総合計画等達成度の評価に関する越前市事務事業等評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 委員会は、委員7人以内をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 関係行政機関の職員
- (3) 前2号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者

(任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指定する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集し、会議の議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(報酬)

第6条 委員の報酬は、特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（平成17年越前市条例第44号）及び特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例施行規則（平成24年越前市規則第13号）の定めるところによる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、越前市行政組織規則（平成17年越前市規則第10号）別表第5に定める課において処理する。

(その他)

第8条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。

(委員会招集等の特例)

- 2 委員長が互選されるまでの間、会議の招集及び運営は、市長が行う。

越前市総合計画等達成度内部評価票

【平成28年度分】

越前市総合計画等達成度内部評価票の構成

< 平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価結果一覧表 > P.1

< 平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票 > P.2

第1章 【元気な産業づくり】

第1節 活力と創造性に満ちた工業の振興	P.2
第2節 魅力ある商業の振興	P.5
第3節 出会いと感動のある観光の振興	P.6
第4節 地域資源を生かした農業の振興	P.8
第5節 みどり輝く森林づくり	P.10
第6節 いきいきと働きやすい環境の充実	P.11

第2章 【元気な人づくり】

第1節 子どもの笑顔が輝く環境づくり	P.12
第2節 安心して暮らせる長寿社会の実現	P.15
第3節 障がい者が安心して暮らせるまちづくり	P.16
第4節 健やかで元気に暮らせるまちづくり	P.17
第5節 助け合い、支え合う地域社会の形成	P.19
第6節 人間力を高める教育の充実	P.20
第7節 主体的に学びを生かす生涯学習社会の実現	P.22
第8節 誇れる歴史、芸術文化の創造	P.24
第9節 生涯スポーツのまちづくり	P.25

第3章 【快適で住みよいまちづくり】

第1節 秩序ある土地利用の推進	P.26
第2節 コンパクトで機能的な都市構造の形成	P.27
第3節 うるおいのある住環境の創出	P.29
第4節 快適な交通体系の整備	P.32
第5節 環境にやさしいまちづくり	P.34

第4章 【安全で安心なまちづくり】

第1節 地域が支える防災体制の充実	P.36
第2節 郷土を守る治山・治水対策の充実	P.37
第3節 地域ぐるみの防犯対策の充実	P.38
第4節 消防・救急体制の充実	P.39
第5節 暮らしの安全の向上	P.40

第5章 【市民が主役のまちづくり】

第1節 市民自治の推進	P.41
第2節 市民交流の推進	P.42
第3節 人権尊重と男女共同参画社会の実現	P.43
第4節 情報の共有化の推進	P.44

第6章 【地方分権に対応した行財政運営】

第1節 自立した行財政運営の確立	P.45
第2節 行政の広域化への対応	P.46
第3節 電子自治体の推進	P.47

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価結果一覧表

柱別	内部評価
第1章 【元気な産業づくり】	4
第2章 【元気な人づくり】	4
第3章 【快適で住みよいまちづくり】	3
第4章 【安全で安心なまちづくり】	4
第5章 【市民が主役のまちづくり】	4
第6章 【地方分権に対応した行財政運営】	4

柱および政策別	内部評価
第1章 【元気な産業づくり】	4
第1節 活力と創造性に満ちた工業の振興	4
第2節 魅力ある商業の振興	3
第3節 出会いと感動のある観光振興	3
第4節 地域資源を活かした農業の振興	4
第5節 みどり輝く森林づくり	3
第6節 いきいきと働きやすい環境の充実	4
第2章 【元気な人づくり】	4
第1節 子どもの笑顔が輝く環境づくり	4
第2節 安心して暮らせる長寿社会の実現	4
第3節 障がい者が安心して暮らせるまちづくり	3
第4節 健やかで元気に暮らせるまちづくり	3
第5節 助け合い、支え合う地域社会の形成	4
第6節 人間力を高める教育の充実	4
第7節 主体的に学びを生かす生涯学習社会の実現	4
第8節 誇れる歴史、芸術文化の創造	4
第9節 生涯スポーツのまちづくり	3
第3章 【快適で住みよいまちづくり】	3
第1節 秩序ある土地利用の推進	4
第2節 コンパクトで機能的な都市構造の形成	4
第3節 うるおいのある住環境の創出	3
第4節 快適な交通体系の整備	3
第5節 環境にやさしいまちづくり	3
第4章 【安全で安心なまちづくり】	4
第1節 地域が支える防災体制の充実	4
第2節 郷土を守る治山・治水対策の充実	4
第3節 地域ぐるみの防犯対策の充実	4
第4節 消防・救急体制の充実	3
第5節 暮らしの安全の向上	3
第5章 【市民が主役のまちづくり】	4
第1節 市民自治の推進	4
第2節 市民交流の推進	3
第3節 人権尊重と男女共同参画社会の実現	3
第4節 情報の共有化の推進	4
第6章 【地方分権に対応した行財政運営】	4
第1節 自立した行財政運営の確立	4
第2節 行政の広域化への対応	4
第3節 電子自治体の推進	4

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第1章 元気な産業づくり
第1節 活力と創造性に満ちた工業の振興

政策 達成度	4 (4)	【特記事項】※昨年度と評価が変更したもののみ記載。	
施策名	目標・取組み概要及び結果・分析		達成度
(1) 既存産業・企業の自立 化の促進と支援	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①越前ものづくり塾においては、異業種によるチーム単位で各社の技術を活用した商品開発を通して、新商品開発の全体の流れを習得するセミナーを開催。</p> <p>②越前モノづくりフェスタ開催により地域産業を市内外に広くPR、参加企業の企業間連携を促進。</p> <p>③市産業活性化プランの改定（27年10月）に基づく小規模事業者の持続的発展の支援強化。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①全10回の越前ものづくり塾を開催し、21事業者が受講。商品の発表の場として、京都市と福井市において展示会を開催した。4年目を迎え、「学び」から「実践」に移行する中で、消費者との繋がりを重視したマーケティングの学習や新商品開発を行っていく。</p> <p>②越前モノづくりフェスタでは、171事業所が出展し、9月17日～19日の3日間で、60,800人の来場者を迎え、越前市のモノづくりを広くPRできた。</p> <p>③小規模事業者が商工会議所等支援機関の指導を受けながら自ら経営計画を策定し、実践する伴走型持続化補助金を募集し、10事業者が経営計画策定・交付決定を行った。小規模事業者に経営計画を策定することの重要性を認識してもらい、29年度では創業者への支援を行う。</p>		4 (4)
(2) 創業の促進	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①新事業チャレンジ支援事業での、新商品の企画・開発、販路開拓、知的財産権の取得への支援。</p> <p>②市PR応援商品事業での、商品登録、ロゴシールの配布。</p> <p>③越前ネクストクラフト事業での、「女性のための創業支援セミナー」開催。中小企業融資事業での女性等創業支援資金利子補給。展示会等出展支援事業での女性創業チャレンジ出展の支援。産業人材育成事業での女性創業者及びグループへの人材育成講座受講等への支援。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①新事業チャレンジ支援事業では、10件認定し、知的財産取得については27年度の制度改正により2件増加した。積極的な周知・PRにより申請件数が増加しており、認定をきっかけに新聞掲載や展示会出展による新規商談等、ビジネスチャンスにつながっている。</p> <p>②市PR応援商品事業では、7件登録。29年度では、登録商品の追加を図る。</p> <p>③市創業支援事業計画に位置付けられている認定支援機関である越前ネクストクラフト実行委員会が「女性のための創業支援セミナー」を開催。チャレンジ出展2回を含め全8回開催し、女性起業家や起業希望者29人が受講。11月に受講修了者などによる女性起業家ネットワーク「紫姫舞会」を設立した。</p>		4 (3)
(3) 企業立地の促進	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①県下トップクラスの企業立地支援制度の堅持と中小・小規模事業者への施策を強化する中で、市企業立地促進補助金を積極的に周知するとともに、制度利用を促す。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①企業立地促進補助金については、企業立地促進補助金でアシックスアパレル工業㈱、㈱福井村田製作所、㈱ふじや食品、ナカヤ化学産業㈱、忠央容器㈱の5件、持続的発展生産施設増設等事業補助金で3件の計8件を新規に指定し、補助要件を満たした5件について新規に補助金を交付した。</p> <p>29年度では、市総合戦略に掲げるI・J・Uターン者の就職支援や女性の雇用創出の促進を図るため、業種や地域によってはサービス産業も同補助金の対象に加える検討を行う。</p>		4 (4)
施策 評価 (4) 産力強化のための支援 体制の構築	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①市産学官連携ネットワーク有識者会議を開催し、市産業活性化プランの進捗管理と29年度予算への意見集約を行う。</p> <p>②ウェブサイト「えちぜんモノづくりNET」において、さらなる機能強化を図る。</p> <p>③市総合戦略に掲げた労働人口の確保に繋がる定住化促進策の推進を図る。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①市産学官連携ネットワーク有識者会議を2回開催し、制度融資に対し意見を集約した。</p> <p>②えちぜんモノづくりNETにおいて、閲覧機能に加え市外企業からのマッチング機能と市PR応援商品の掲載を付加した。</p> <p>③29年1月26日に信越化学工業(株)武生工場、(株)福井村田製作所、アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)との間で、地方創生に関する包括的地域連携協定を締結した。締結により、各社社員に対し、市が実施する定住化に向けた各支援制度の周知が図られた。今後も、協定を契機に、産業振興や雇用対策に加え、移住定住施策、まちづくりなど幅広い分野で、地域の課題解決と市総合戦略の推進に向け連携して取り組むことを確認した。</p>		4 (4)

<p>(5) 伝統産業の活性化</p>	<p>【目標・取組み概要】 ①市工芸の里構想を推進し、伝統産業の振興、後継者の育成、国内・海外販路の展開、文化の発信拠点・産業観光の起点を整備する。 ②県ものづくりの里プロジェクト協議会と市工芸の里構想との連携を図り、丹南5産地での広域的な産業観光を推進する。 ③打刃物拠点施設の整備に伴い、産地や工芸開放試験場利用者と協議し、施設設計に反映させる。</p> <p>【結果及び分析】 ①27、28年度の2ヶ年継続事業で、紙の文化博物館を和紙文化の発信拠点、産業観光の起点として整備した。29年4月8日に1階部分をリニューアルオープン、9月30日にフルオープンする。 リニューアルオープンに伴い、29年4月8日からGW後までの約1か月間のイベントを行い、その後9月のフルオープンに向け、特別展の開催準備を進める中、和紙の魅力を来場者に伝える展示、販路の拡大及び産業観光の強化を促進する。また、県内外で開催されるイベント等に3産地が連携して参加しながら、販路拡大、広報活動及び産業観光の推進を行う。 海外への販路拡大として、経済産業省事業によるCraftmeetに採用されたことにより、丹南の5つの伝統産業を海外へPRをすることができた。また、東京都主催による「ものづくり・匠の技の祭典2016」及び東京のKittelにおける展示会に5産地で参加することで、丹南地域の観光を含め国内での販路拡大につなげることができた。 ②市の伝統産業後継者育成対策事業や県ものづくりの里プロジェクトの伝統工芸職人塾により後継者の育成を図った。11月にサンドーム福井で開催した伝統的工芸品月間国民会議全国大会に、全国からパイヤーを招待し、商談会を開催した。 「工房群に美技ひしめくまち一越前」をタイトルに、丹南5産地での産業観光をストーリー化し、「日本遺産」として文化庁に申請した。 ③産地組合との協議を踏まえ、打刃物拠点施設整備計画を決定した。 30年9月オープンに向けイベントプログラムを検討し、資料の収集・展示について産地組合と連携して推進する。</p>	<p>4 (4)</p>
<p>総合戦略における具体的施策の実施状況</p>	<p>【主な事業の実績等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越前ものづくり塾 セミナー10回開催、受講者21事業者 ・女性のための創業支援セミナー 8回開催、受講者29人 ・企業立地支援補助金交付件数 新規5件（新規雇用971人、うち市内在住389人） ・産業人材育成支援事業補助金交付件数 10件 ・伝統産業後継者育成対策事業交付件数 19件 ・伝統工芸職人塾塾生 6人 ・小中学校での地元企業見学会の実施率 100% ・モノづくり出前講座開催 32回 ・29年1月26日に信越化学工業(株)武生工場、(株)福井村田製作所、アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)との間で、地方創生に関する包括的地域連携協定を締結した。 ・29年2月14日に、福井信用金庫と地方創生に関する包括的連携協定を締結した。 	

実践プログラム【主な事業計画】										
活動指標等	事業名	指標名	達成状況 (年度末見込み)							
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	地域産業育成事業	丹南産業フェア出展企業数 (越前モノづくりフェスタ)	137	146	163	165	176	171	—	—
越前発新事業チャレンジ支援事業	新事業チャレンジ支援事業認定件数	7	7	9	3	3	10	—	—	
アタック100	市内事業所の訪問件数	131	130	240	145	140	118	—	—	
越前ネクストクラフト事業	モノづくり塾セミナー受講者数	—	—	—	25	23	21	—	—	
	女性創業支援セミナー受講者数	—	—	—	—	23	29	—	—	

実践プログラム【数値目標】											
成果指標	指標名	基準値	目標値	達成状況 (年度末見込み)							
		(時点)	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	製造品出荷額等の県内比率 (%)	21.8 (H17)	25.0	23.5	21.7	24.3	23.5	25.0	25.0	—	—
	企業立地促進補助制度認定事業所数 (延べ数) (件)	10 (H18)	55	20	23	28	34	39	45	—	—
	新事業チャレンジ支援制度認定事業所数 (延べ数) (件) (H28以降申請件数に変更)	5 (H18)	80	43	50	59	62	65	80	—	—

総合戦略										
数値目標・KPI	基本目標柱	数値目標KPI	内容	目標値(H31)	達成状況 (年度末見込み)					
					H27	H28	H29	H30	H31	
		基本目標Ⅰ	KPI	企業立地促進補助金利用による雇用増加数	1,000人増/5年間	56	971	—	—	—
	基本目標Ⅱ	KPI	小中学校での地元企業見学会の実施率	100% (毎年度)	100	100	—	—	—	—
	基本目標Ⅴ	KPI	新生活支援サイト「住もっさ！越前市」から市内企業HPへのリンク登録件数 (延べ)	25社/5年間	2	77	—	—	—	—

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第1章 元気な産業づくり
第2節 魅力ある商業の振興

政策 達成度		3 (3)	【特記事項】 ※昨年度と評価が変更したものののみ記載。								
施策評価	施策名	目標・取組み概要及び結果・分析								達成度	
	(1) 小売業者の活性化促進	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①元気な事業者グループ支援事業決定団体数について延べ38団体を目指す。 ②まちなか開業・地域助け合いビジネス支援事業新規認定件数について延べ62件を目指す。 上記の目標を達成させるため、支援事業の周知を図り、利用の拡大を図るとともに、開業の情報を収集するため、まちづくり武生(株)、武生商工会議所、越前市商工会などの関係機関と連携し商業の振興を図る。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①元気な事業者グループ支援事業において、7件の新規決定を行い、目標値38団体を2団体上回る40団体となった。 ②まちなか開業・地域助け合いビジネス支援事業において、5件の新規認定を行い、目標値としていた延べ63件を達成した。 これまでの開業時経営支援型では、投資額が低いため店の魅力向上感も乏しく、投資額が大きい飲食業には不向きで、店も散在していたため、効果が見えにくかった。 29年度からは、エリアと業種を絞り、経営支援型から設備投資支援型にシフトし、誘客効果が高いとされる飲食店などを中心に、重点エリア(総社通り、京町界限、総社表参道)を設定し、魅力ある店舗づくりに支援する。</p>								3 (3)	
	(2) 経営基盤の強化	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①商工会議所及び商工会の経営指導件数の増加を目指す。 ②市産業活性化プラン(改定)に基づく、伴走型持続化補助金制度の運用。 ③市制度融資について、地方創生における金融の役割と預託制度のあり方を検討する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①27年度に商工会議所が、28年度に商工会が、国の経営発達支援計画の認定を受け、経営指導の強化に取り組んでいる。 ②伴走型持続化補助金は10事業所で経営計画策定・実践している。今後は、新規創業者への支援を含む事業枠の拡充を検討する。 ③従来の預託制度を見合わせ、金融機関の自己資金による融資に切り替え、金融機関の企業への経営指導等で経営強化につなげる新しい制度の検討をした。 29年度から新制度に切り替え、利子補給を強化するとともに、返済期間を最長7年から10年に延長する。この制度を運用する中で、引き続き中小・小規模事業者の持続的発展・事業継続を支援する。</p>								3 (3)	
総合戦略における具体的施策の実施状況	<p>【主な事業の実績等】</p> <p>・以下のまちなか開業支援業務をまちづくり武生㈱に委託し、まちなかの賑わいを創出する取組みや、まちなかで開業する人を支援し、まちなかの賑わい創出を図った。 ①開業相談 ②空き店舗紹介 ③資金繰り相談 ④支援金の交付 ⑤開業3年間の経営サポート 28年度まちなか開業支援件数5件(目標値20件/5年間)</p>										
活動指標等	実践プログラム【主な事業計画】										
	事業名	指標名	達成状況 (年度末見込み)								
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
	中心市街地活性化事業	まちなか開業支援件数(新規)	7	7	4	6	6	5	-	-	
小規模事業経営支援促進事業	経営指導件数	-	-	-	6,264	6,245	7,506	-	-		
	伴走型持続化補助金交付件数	-	-	-	-	10	10	-	-		
中小企業融資事業	融資件数	18	178	141	106	115	101	-	-		
成果指標	実践プログラム【数値目標】										
	指標名	基準値 (時点)	目標値 H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	元気な事業者グループ支援事業決定団体数(延べ数)(団体)	9 (H22)	49	15	18	23	29	33	40	-	-
まちなか開業・地域助け合いビジネス支援事業新規認定件数(延べ数)(件)	7 (H18)	70	35	42	46	52	58	63	-	-	
数値目標・KPI	総合戦略										
	基本目標	数値目標 K P I	内容	目標値 (H31)	達成状況 (年度末見込み)						
					H27	H28	H29	H30	H31		
基本目標 I	K P I	まちなか開業支援件数	20件/5年間	6	5	-	-	-			

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第1章 元気な産業づくり
第3節 出会いと感動のある観光の振興

政策 達成度	3 (3)	【特記事項】 ※昨年度と評価が変更したもののみ記載。	
施策名	目標・取組み概要及び結果・分析		達成度
(1) 観光資源の開発	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①観光客入込客数110万人を目指す。 ②学生合宿による宿泊者数：3,000人を目指す。(学生合宿宿泊の報償制度を28年5月に拡充 1団体あたり上限20万円/年度→1団体あたり上限50万円/回) ③池上遼一氏のイラスト描写による伝統産業PRポスターを作成し観光施設に配布する。 ④伝統産業の産地等のまち歩きツアーを企画し、積極的にPRする。 ⑤「ちひろの生まれた家」記念館に新展示室を設け、4月にリニューアルオープンする。 ⑥紫式部公園の式部像を、公園創設時と同じような美しい姿に修復する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①各観光施設の集客取組みにより、入込数は118万人と目標値を上回った。(27年112万人) 29年度からは、35年春の北陸新幹線南越駅(仮称)開業や、30年に開催される福井国体など本県への注目が増す中、28年度改定した市観光振興プラン及び丹南地域周遊滞在型観光推進計画の推進に向け、観光資源の強化を図りながら、越前市及び丹南地域全体で魅力度向上を目指す。 ②しきぶ温泉「湯楽里」の一般利用者数が増えた(180千人→196千人)ことにより、学生宿泊者数は昨年より減少し1,726人となった。(27年 2,746人) 29年度は、28年度に改修を終えたふくい農業ビジネスセンターも学生合宿に最適な施設として売り込む。 ③池上遼一氏のポスター効果は、フェイスブック等のSNSを中心に情報が拡散され好評を得た。30年に、いわさきちひろ生誕100年を迎えることから、記念事業の実施に向け、ちひろの生まれた家の整備拡充と絵の展示を強化し、誘客増とまちなか回遊の拡大に取り組む。 ④まち歩きツアーを3回開催し、参加者から次回を望む声が出るなど好評を得た。 ⑤ちひろの家は、年4回の企画展を開催し、開館日を週6日にしたことから、来館者が約2,000人増えた。 ⑥建立当時の輝きを取り戻す紫式部像の修復工事を行ったことで、観光客入込数が昨年より約3,000人増えた。(60,000人→63,000人)</p>		4 (4)
(2) 越前市の魅力発信	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①歩いて観光しなくなるような魅力的な観光冊子の作成に取り組む。 ②県及び県観光連盟とともにプロモーション活動を行い、インバウンド拡大に取り組む。 ③観光まちづくりを促進するためJTBと地方創生に関する包括的連携協定を締結する。 ④3大グルメと料亭文化について、積極的な情報発信を行う。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①市観光協会で観光ガイド「モノ、コト、ココロ旅」を創刊した。 ②インバウンド対策は、県事業と連携し、市内で体験観光ができる施設を県内在住の外国人に紹介し、SNS等で情報発信を行った。和紙の里に外国人が多く訪れていることから、紙の文化博物館に、多言語化システムを導入した。 ③JTBと包括的連携協定を締結し、本物志向の体験型商品の具体化について検討を行った。今後は、JTBとの協力連携のもと、本年度改定した市観光振興プランの推進体制を強化していく。 ④越前おろしそば、ボルガライス、武生駅前中華そばのご当地グルメが味わえる飲食店マップを作成した。越前がいが、市内料亭でも食べられるということも、観光客に意識づけることができた。料亭文化と3大グルメは、継続して本市の主要な観光PR戦略として注力する。</p>		4 (4)
(3) 受入れ態勢の整備	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①観光回遊バスの運行、観光・匠の技案内所とまちなかプラザの運営、ボランティアガイドの活用等により、観光客の受入れ態勢を整える。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①観光回遊バスについては、桜の時期(2日間)、GW(2日間)に運行し、それぞれ1,292人、561人の利用があった。 ・地元高校生の授業で、観光客を相手にボランティアガイドを行うことを想定した、事前学習とフィールドワークを2回行った。 ・観光・匠の技案内所については7,968人、まちなかプラザについては7,000人の利用があった。 (27年度実績 観光・匠の技案内所8,865人 まちなかプラザ7,202人) ・JR武生駅前に、市ゆかりの絵本作家(かこさとし・いわさきちひろ)の大型PR看板を設置し、観光案内の充実を行った。</p>		3 (3)

施策評価

(4) 観光イベントの充実	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①たけふ菊人形の入場者数9万人を目指す。 ②サマーフェスティバルの来場者数10万人を目指す。 ③式部とふじまつり等市内観光イベントを支援する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①菊人形入場者数は、昨年より会期を6日間短縮したが、5年ぶりに9万人を超えた。増加要因として、中学生以下の入場料無料化、レンタル遊具の充実、OSK公演会場を文化センター大ホールに変更したことなどが挙げられる。 29年夏に市民の広場や体育館等が完成することから、こうした新施設との相乗効果を狙い、菊人形会場である武生中央公園への入場は無料とし、有料エリアは菊人形館とOSK観劇の2か所に限定する。また、中学生以下の菊人形館入場料金、OSKの観劇料金は、昨年に引き続き無料とする。市民の広場や体育館の完成後の9月16～18, 23, 24日には、子どもを対象にした菊人形のプレオープンイベントを開催する。 ②サマーフェスティバルは、ふるさと踊りが7,000人、わっしょい越前が15,000人、花火大会が100,000人と多くの観客が訪れ、3日間合計で122,300人の来場となった。(昨年114,300人) ③式部とふじまつり等市内観光イベントの支援を行った。</p>	3 (3)									
総合戦略における具体的施策の実施状況	<p>【主な事業の実績等】</p> <p>越前市に関する情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 池上遼一氏のイラスト描写による伝統産業PRポスターを2,400枚作成し、各施設に配布 フェイスブック等のSNSによる積極的な観光情報を発信(年80回投稿) 3大グルメマップの改定を行い、より詳しい店舗情報を市観光協会のHPで情報発信 市ふるさと大使の協力により市の魅力を発信した。 <p>(主な内容:かこさとし氏が武生中央公園市民の広場を監修し本市をPR、本市を舞台とした「コウノトリのこうちゃん」を刊行、池上遼一氏のイラストによる伝統産業PRポスター3種完成、リオオリンピック入賞の見延和靖選手と佐藤希望選手が本市をPR、プロ自転車ロードレーサー中島康晴選手が菊花マラソンで新設された村国山コースを先導等)</p>										
活動指標等	実践プログラム【主な事業計画】										
	事業名	指標名	達成状況 (年度末見込み)								
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
観光客増加促進事業	観光バスによる誘客数	265,872	227,660	204,377	180,429	193,513	155,054	-	-		
サマーフェスティバル支援事業	来客者数	113,500	92,800	119,500	101,500	114,300	122,300	-	-		
成果指標	実践プログラム【数値目標】										
	指標名	基準値	目標値	達成状況 (年度末見込み)							
		(時点)	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	観光客入込数(人)	815,000(H17)	1,100,000	1,060,000	966,000	995,000	941,000	1,124,957	1,182,202	-	-
	たけふ菊人形の入場者数(人)	98,502(H22)	100,000	110,078	88,994	87,527	84,517	89,930	90,901	-	-
語り部の活動回数(回)	58(H17)	180	81	99	55	-	-	-	-	-	
ボランティアの活動回数(回)			-	-	-	40	39	53	-	-	
学生合宿宿泊者数(人)	707(H22)	3,300	1,606	1,706	1,799	3,064	2,746	1,726	-	-	
数値目標・KPI	総合戦略										
	基本目標柱	数値目標KPI	内容	目標値(H31)	達成状況(年度末見込み)						
				H27	H28	H29	H30	H31			
基本目標V	KPI	年間観光客入込数	110万人	1,124,957	1,182,202	-	-	-			

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第1章 元気な産業づくり
第4節 地域資源を生かした農業の振興

政策 達成度	4 (4)	【特記事項】 ※昨年度と評価が変更したもののみ記載。	
施策名	目標・取組み概要及び結果・分析		達成度
(1) からだところを育む食の実現	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①「まるごと食の感謝祭」を開催し、市内の農畜産物を使用した食の体験イベントを開催。地産地消や食育を広く市民にPRを行う。</p> <p>②「地産地消推進の店」を認定し、地場産のお米等をメニューに扱う店舗を市民にPRすることで、地産地消の推進を図る。</p> <p>③安全で安心な地場産農産物の生産を図るため、学校給食の食材を扱う農業者グループへ研修会を実施する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①11月19、20日に武生中央公園で、JAと共催した「まるごと食の感謝祭」を開催し、2日間で約2万5千人の来場者があり、越前市の地場農畜産物などの食の魅力を発信した。また、同時にご飯食の大切さを啓発する「ごはん塾」を開催した。</p> <p>②「地産地消推進の店」を新たに4件認定した。</p> <p>29年度からは、地場産農畜産物を取り扱う小売店舗にも認定の枠を広げ、地産地消の推進を図る。</p> <p>③学校給食へ地場産農産物を供給している農業者グループに対し、農薬等の適正な使用や管理の方法について2回講習し、安全で安心な農産物の生産について周知できた。</p> <p>学校給食への地場産農産物を供給している団体の高齢化等により、体制の維持が難しくなっていることから、地場産農産物の供給方法や加工品の利用を含めた食材供給率の向上を検討する。</p>		4 (4)
(2) 多様な農業の実現	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①新規就農者や認定農業者等の担い手の育成・確保を図る。</p> <p>②生産コストの軽減を図るため、農地中間管理事業の活用による農地の集積・集約化を図る。</p> <p>③「コウノトリ呼び戻す農法米」に代表される特別栽培米の作付け拡大を目指し、環境調和型農業を推進する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①28年度末には、新規就農者10人、認定農業者129経営体（個人：95、法人：34）、集落営農組織39経営体、計178となった。（27年度173経営体）</p> <p>②28年度の農地中間管理機構による集積面積は105.9ha（27年度109.5ha）で、総集積面積は224.9haとなった。農地の集積化が進み集積率は64.2%（27年度60.5%）となった。</p> <p>③28年度の特別栽培米作付面積は593ha（27年度：501ha）で、うちコウノトリ呼び戻す農法米の作付面積は12.5ha（27年度0ha）であった。また冬期湛水289ha（27年度209ha）、中干し延期444ha（27年度247ha）と生物多様性保全の取組みも増加した。また県外の市産米の実需者を市内の圃場へ招き、農業体験などの交流会を年2回開催した。</p> <p>30年産米から国主導の生産調整が終了することから、生きものに優しい農業として県やJAと連携し、付加価値の高い米づくりを推進していく。また県外の消費者を市内の米の生産圃場に招き、農家との交流体験を通じた安全安心の米づくりを知ってもらうことで販路拡大を図っていく。</p>		4 (4)
(3) 農を基盤とした自然環境と地域社会の実現	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①中山間地域等直接支払制度を活用し、取組み区域の拡大と集約を図る。</p> <p>②農家民宿数を増やし、越前市で農業体験等を通して魅力を発信できるよう受入体制を整備する。</p> <p>③農地や農業施設の保全を行う多面的機能支払交付金事業については、未組織の集落に対し組織化を働きかけていく。</p> <p>④鳥獣害対策については、地区ごとにモデル集落を設定し、きめ細やかな指導を行い、防護柵の管理を徹底する。また、地域ぐるみでの防除対策の実施が重要なことから、集落への組織支援を推進する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①38集落で中山間地域等直接支払制度による農地の多面的機能の確保や地域の活性化が図られた。</p> <p>②新たに農家民宿を2件（27年度0）登録した。（坂口地区、今立地区）</p> <p>③多面的機能支払交付金事業は、4町内が組織化され87組織に増加し、農業振興区域の94%をカバーした。</p> <p>④鳥獣害対策については出前講座等で、維持管理の指導を行った。組織支援については、41集落が鳥獣害対策組織を設置した。被害面積が13.6ha増加し、42.1haとなった。</p> <p>防除対策の組織支援については、取組集落が全体の約30%と低いため、引き続き未組織集落に対し説明を行い、組織化を促す。また、シカによる被害に対して、29年2月に、丹南地域2市3町による対策協議会を組織し、29～31年度で広域的に捕獲を実施する。</p>		3 (3)
総合戦略における具体的施策の実施状況	<p>【主な事業の実績等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムに関する情報の発信 ホームページによる発信、委託事業による交流促進（委託先：ロハス越前） ・水稻振興対策事業（市産米交流事業）による情報の発信 県外の市産米の実需者を市内の圃場へ招き、農業体験などの交流会を年2回開催した。 		

実践プログラム【主な事業計画】											
事業名	指標名	達成状況 (年度末見込み)									
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30		
活動指標等	新規就農者支援事業	新規就農対象者との相談・指導回数/年	11	11	11	15	20	26	—	—	
	水田農業支援事業	大麦・大豆・そばの作付面積 (周年作含まない)	508	789	523	525	514	514	—	—	
	農地・水管理支払交付金事業	農振農用地における協定率協定面積 (農振農用地) ÷ 農振農用地面積 × 100	73.7	74.0	78.0	80.1	92.0	94.0	—	—	
	環境調和型農業推進事業	環境調和型農業に取組農業者の数	253	330	321	292	297	306	—	—	
	中山間地域直接支払事業	集落協定による保全農地面積	182	184	184	184	184	180	—	—	
	農用地利用集積事業	担い手 (認定農業者及び集落組織) の農地集積面積の割合	37.0	37.4	57.1	57.5	60.5	64.2	—	—	
	地域ぐるみ体験交流支援事業	農業体験受入れ農家数 (農家民宿を含む)	99	105	106	102	102	104	—	—	
	農作物鳥獣害防止対策推進事業	獣害被害面積 (県農業共済組合共済引受面積より)	16.1	20.6	38.2	38.6	28.5	42.1	—	—	
	市営土地改良事業	受益農用地面積割合 (受益農用地面積 / 全農用地面積) × 100 (%)	1.10	2.90	1.54	2.02	3.42	1.10	—	—	
実践プログラム【数値目標】											
指標名	基準値	目標値	達成状況 (年度末見込み)								
	(時点)	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
成果指標	小学校給食における地場産 (県内) 食材利用率 (%)	30.1 (H17)	47.0	33.9	44.1	39.3	43.7	48.5	51.8	—	—
	担い手経営体 (認定農業者・集落営農等) 数 (経営体)	120 (H18)	179	154	157	158	161	173	178	—	—
	担い手農家への農地集積率	57.5 (H26)	69	—	—	—	57.5	60.5	64.2	—	—
	特別栽培米の作付面積	438 (H26)	670	—	—	—	438	501	593	—	—

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第1章 元気な産業づくり
第5節 みどり輝く森林づくり

政策 達成度		3 (3)	【特記事項】 ※昨年度と評価が変更したもののみ記載。								
施策評価	施策名	目標・取組み概要及び結果・分析								達成度	
	(1) 健全な森林の整備	<p>【目標・取組みの概要】</p> <p>①住民（7団体）との協働による、基幹林道管理を継続的に実施する。</p> <p>②水源涵養機能等の森林が持つ多面的機能を維持するため、民有林造林支援事業により間伐等の支援を行う。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①住民（7団体）との協働による基幹林道管理が継続的に行われた。（L＝21.3km）</p> <p>②民有林造林・間伐等の整備を森林組合が37ha、里山保全団体が2haの計39haで実施したが、県の森林施策が越前市内で実施されなかったことから、目標の6割程度の施策結果となった。</p>								3 (3)	
活動指標等	(2) 森林資源の活用	<p>【目標・取組みの概要】</p> <p>①金華山グリーンランドは、施設利用者にダイレクトメールを送付し、利用の促進を図る。</p> <p>②八ツ杉森林学習センターでは、森林・林業の研修会等を実施することで後継者の育成や活性化を図る。</p> <p>③市木材利用基本方針、市木材利用拡大行動計画に基づき、公共建築物等において、木造化・木質化を推進する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①金華山グリーンランドは、コテージ利用者が増加し約70万円の収入増となった。施設利用者は5,002人であった。</p> <p>②八ツ杉森林学習センターは、28年8月11日に「林業シンポジウム」を開催し、鳥取県智頭町長の講演会や2団体の事例紹介、福井工業高等専門学校の研究発表を行い、林業後継者の育成や活性化を図った。施設利用者は、19,568人であった。</p> <p>今後も、林業学習会を開催して林業後継者の育成を図るとともに、森林・林業学習の場としての機能強化を図るためのプログラムを充実していく。</p> <p>③公共建築物等の木材利用件数は6件あった。</p>								4 (3)	
	実践プログラム【主な事業計画】										
活動指標等	事業名	指標名	達成状況（年度末見込み）								
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
	森林整備地域活動支援事業	施策集約化面積（ha）	—	—	35	35	35	30	—	—	
	民有林造林支援事業	森林施策面積（ha）	30	52	43	58	59	39	—	—	
	林道管理事業	地域住民による林道管理延長（Km）	19.7	19.8	19.9	21.1	21.3	21.3	—	—	
林業施設管理事業	金華山グリーンランド 八ツ杉森林学習センターの 利用者数（人）	23,199	21,068	22,128	23,395	25,072	24,570	—	—		
成果指標	実践プログラム【数値目標】										
	指標名	基準値	目標値	達成状況（年度末見込み）							
		（時点）	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	林道の総延長距離（km）	143.4 (H18.4)	148.4	147.0	147.3	147.6	147.7	147.8	147.9	—	—
間伐立木材積（累積）（m ³ ）	7,300 (H18.4)	120,000	72,700	77,700	82,700	84,700	86,700	88,750	—	—	
森林の年間整備面積（ha）	58 (H26)	60	—	—	—	58.7	59.0	38.5	—	—	

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第1章 元気な産業づくり

第6節 いきいきと働きやすい環境の充実

政策 達成度		4 (4)	【特記事項】 ※昨年度と評価が変更したもののみ記載。								
施策評価	施策名	目標・取組み概要及び結果・分析								達成度	
	(1) いきいきと働きやすい環境の充実	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①職業系高校（商業・工業高校）の生徒を対象に中小企業の職場見学会を開催 ②中小企業の新入社員を対象に職場定着化セミナーを開催 ③U I J ターン就職奨励金の交付 ④ウェブサイト「越前WORK魂」を立ち上げ、全国に向け企業で働く人材を情報発信 ⑤シルバー人材センターにおいて、新規会員の加入促進・就業機会の確保に取り組む。 ⑥勤労青少年ホームによる若者の就労支援事業及び婚活イベントの実施</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①武生工業高校と武生商業高校を対象に市内企業の職場見学会を開催し、192人が参加し、企業及び高校からも評価が高かった。 ②定着化セミナーについては、中小企業が人員確保に苦慮する中、離職防止に取り組んでおり、31人が受講した。引き続き、積極的な周知活動に取り組み、受講生の増加を図る。 ③U I J ターン就職奨励金については、15件交付・対象者22人。 ④ウェブサイト「越前WORK魂」については、9社の企業及び人材情報を発信した。市内企業で働く人にスポットを当てた情報発信により、働く姿を通して企業の魅力や地元で働くことの魅力をPRした。（月平均アクセス数986） ⑤シルバー人材センターにおいて、新たに空家・空地管理代行サービス事業に取り組み、33件を受注するなど、就業機会の確保に取り組む。 ⑥勤労青少年ホームにおいて、若者の就労への自立支援を目的に若者サポートステーション（通称サポステ）出張相談会を開催し、相談件数8件。婚活イベントを3回開催し、延べ84人が参加。</p>								4 (4)	
	総合戦略における具体的施策の実施状況	<p>【主な事業の実績等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の職場見学会192人参加、受入れ企業16企業 ・新入社員定着化セミナー31人受講 ・U I J ターン就職奨励金 15件交付（対象者22人） ・勤労青少年ホームの新規若年利用者数は150人、サポステ出張相談会を開催・相談件数8件、婚活イベント3回開催。延べ84人参加。 ・28年10月2日(大阪)10日(東京)にて、県及び県下市町によるふくい移住・就職フェアを開催。 ・29年1月8日に成人式各地区の新成人のつどいにおいて、県内中小企業や就職支援機関、福井の暮らしやすさを紹介するパンフレットを配布し、地元就職を促すとともに「はたちのジモト愛アンケート」を実施。（新成人953人、回答者536人）。家族から「帰ってきてほしい」と言われ続けた新成人の6割が「帰ってきたい」というアンケート結果となった。 ・29年3月12日に県及び県下市町によるU I J ターン者交流会をアオッサで開催（定員50人）。 ・本市に移住した人に対して、本市の旬な魅力情報をメールで配信するサービス「I J U えちぜん」を開設、29年1月21日には、ふるさと越前市を体感する趣旨でオフ会を開催（参加会員15名）。 									
活動指標等	実践プログラム【主な事業計画】										
	事業名	指標名	達成状況（年度末見込み）								
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
	シルバー人材センター支援事業	就業率	90.7	92.3	90.0	94.2	93.9	92.0	-	-	
勤労青少年ホーム管理運営事業	勤労青少年ホーム新規若年者の利用者数	155	151	120	126	100	150	-	-		
労働者融資事業	融資件数（生活安定資金）	209	216	220	119	100	100	-	-		
成果指標	実践プログラム【数値目標】										
	指標名	基準値	目標値	達成状況（年度末見込み）							
		(時点)	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	市内高校新卒者の就職内定率（武生工業高校・武生商業高校等）（%）	100 (H21)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-
労働者福利厚生施設年間利用者数（人）	60,919 (H17)	65,000	68,977	60,380	63,117	61,174	62,414	67,456	-	-	
すくすくすまいる事業所登録数（件）	0 (H18)	115	71	81	87	94	98	105	-	-	
数値目標・KPI	総合戦略										
	基本目標	数値目標 K P I	内容	目標値 (H31)	達成状況（年度末見込み）						
					H27	H28	H29	H30	H31		
	基本目標 I	数値目標	生産年齢人口における社会増減（現状見通し比、単年）	+350人（5年間合計）	113	91	-	-	-		
	基本目標 II	数値目標	I J U ターン者数（日本人の転入者数、H26基準値1,705人、単年）	+100人（5年間合計）	-43	-33	-	-	-		
基本目標 II	K P I	U I J ターン就職奨励金利用者数（延べ人数）	延75人/5年間	3	25	-	-	-			
基本目標 I	K P I	すくすくすまいる事業所登録件数（件）	120件（平成31年度末時点）	98	105	-	-	-			

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第2章 元気な人づくり

第1節 子どもの笑顔が輝く環境づくり

政策 達成度	4 (4)	【特記事項】 ※昨年度と評価が変更したもののみ記載。
施策名	目標・取組み概要及び結果・分析	
	達成度	
(1) 子どもの人権が保障される社会づくり	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①子ども・子育て支援については、26年度に策定した市子ども・子育て支援事業計画に基づき充実を図る。また、子ども子育て会議を開催し意見を聴取する。</p> <p>②事業所連絡会、関係機関とのケース会議、出前講座等において、市子ども条例の趣旨について伝え参加者の理解を深める。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①教育・保育の量の見込み、及び放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的な支援について計画の見直しを行った。また、子ども子育て会議を3回開催した。</p> <p>②ケース会議150回、事業所連絡会4回、出前講座等18回実施する中で、子ども条例の趣旨の理解を図った。ケース会議等の参加者が子ども条例の趣旨「子どもの自立」について共通理解をすることで、参加者にとって子どもへの支援の方向性がわかりやすくなった。</p>	
(2) 仕事と生活の調和を実現する社会づくり	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①仕事と子育ての両立支援については、事業所へ働きかけ、すくすくすまいる事業所登録を推進する。</p> <p>②多様化する子育てニーズへの対応については、保護者のニーズに応じ、家庭の実情に応じた子育て支援を実施する。また、教育と保育の質の向上を図る。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①職員が直接事業所を訪問し登録を呼びかけ、登録事業所が105事業所に増えた。また、登録事業所に対し、アンケートの実施、子育て支援情報のメール配信を行った。理解の拡大が図られ登録事業所数が増加した。</p> <p>②保護者のニーズに応じた子育て支援事業を実施することができた。</p> <p>延長保育、休日保育及び一時預かり等、保護者の多様なニーズに応じた子育て支援事業を実施した。また、保育士の質の向上を図るため、幼児教育アドバイザー、園内リーダー及び保育園巡回支援員を配置し、研修を実施することにより、質の向上に努めた。</p> <p>公私立保育園・認定こども園・幼稚園を対象とした資質向上研修の実施や、巡回指導により、教育・保育に関わる職員の資質向上を図ることができた。</p>	
(3) 子どもの健やかな成長を育む教育・生活環境づくり	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①放課後児童クラブの実施により、子どもの安心安全な居場所を確保する。また、放課後児童クラブの児童指導員の資質向上を図るため、放課後児童支援員認定資格研修への参加を促す。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①本市は、放課後児童クラブの受入れについて、小学6年生まで拡大していることから、飽和状態のクラブも出てきているため、子ども子育て会議において、子どもたちの放課後の居場所について検討した。</p> <p>放課後児童クラブ児童指導員の研修については18人が受講した。</p> <p>学童保育の需要は年々増加しており、今後、地域における子ども達の居場所の確保を検討する必要がある。また、放課後児童支援員認定資格研修への参加者が増え、指導員の質の向上を図ることができた。</p>	

<p>施策評価</p>	<p>(4) 支援を必要とする子どもとその家族への自立援助体制づくり</p>	<p>【目標・取組み概要】 ①子ども・子育て総合相談室を拠点に、関係機関と連携し、支援の必要な子どもと家庭に対しワンストップ支援を実施する。 ②子どもへの支援は、関係機関による援助方針や役割分担の共通理解が重要であり、ケース会議を開催する。 ③子どもの自立のための情報共有システム「子ども条例発達自立支援システム」を構築する。 【結果及び分析】 ①支援の必要な子どもの支援の一つとして新たに、特別支援学級に通う子ども達の学習支援の場の整備、及び就学前の外国籍児童を対象としたプレスクール（日本語教室）を3回開催した。 現在実施の個別学習支援では、対象児童数に限界があり十分ではないため、さらに、29年度よりひとり親家庭等への学習支援事業を新設する。 ②複雑多様化する問題に対し、子ども・子育て総合相談室が調整機関となり、関係機関と連携し、支援を要する子どもに適切な支援を実施した。（新規受付相談件数300件、ケース会議150回） ケース会議を実施したことで、関係機関の連携が強化され、子どもの支援がスムーズにできた。 ③母子保健と協議を重ね、妊娠期からの切れ目ない支援ができるようシステムを構築した。 構築した「子ども条例発達自立支援システム」の活用を図る。</p>	<p>4 (4)</p>
<p>施策評価</p>	<p>(5) 親子と心と体の健やかな成長を支援する体制づくり</p>	<p>【目標・取組み概要】 ①夢をはぐくむはじめのいっぽ事業において、5か月児セミナーや図書館に來られなかった家庭を訪問し、子どもと家庭の状況を把握する。 ②高額な治療費のために不妊治療を断念することが無いように特定不妊治療助成を見直し実施する。また子育て世代包括支援センターにおいて、妊娠から出産、子育て期まで切れ目ない支援を強化する。 ③赤ちゃんの健やかな成長と、成長過程に重要な自己肯定感を育むために、市オリジナル誕生記念カード「わたしたちの赤ちゃんへ、ちひろのおくりもの」を新生児に贈る取組みを新たに始める。 【結果及び分析】 ①地域子育て支援センター一陽において、夢をはぐくむはじめのいっぽ事業の補完事業を実施し、セミナー等に來られなかった子どもと家庭を把握した。補完事業の実施で、支援を必要とする家庭の発見にも繋がり適切な支援に繋ぐことができる。 ②特定不妊治療の自己負担を、治療費の3割として保険診療並みの自己負担とした。また男性不妊治療の助成も新しく創設し、これまで10万円上限であった人が25万円の補助を受けることが出来るなど、特定不妊治療の支援が強化された。妊娠出産包括支援として、特定・ハイリスク妊婦等の相談支援を強化し、妊娠期から親子への継続した相談関係を築き、専門機関との連携を図った。 ③誕生記念カードは、本市ゆかりの絵本画家いわさきちひろ氏の絵と市ふるさと大使の歌人俵万智氏のメッセージを使用し、越前和紙で作成した。カードの贈呈は出生届の際に窓口で贈ることとし、いわさきちひろの誕生日である12月15日から開始した。誕生記念カードは、生まれたばかりの写真や胎児の時のエコー写真などを貼ることもでき、出生時の親の愛情を子どもに伝え、子どもにとって生涯の宝物となり、子どもの成長・自立に必要な自己肯定感を育むことが期待できる。 ・妊娠期から出産、育児の切れ目ない支援のために、スマートフォン等を利用して健康を含めた子育て関連情報を分かりやすく提供することを検討しており、29年度に仕組みを構築する。</p>	<p>4 (4)</p>
<p>施策評価</p>	<p>総合戦略における具体的施策の実施状況</p>	<p>【主な事業の実績等】 ・仕事と子育てが両立できる職場環境の取組みの推進 →すくすくすまいる事業所の登録の推進 ・保護者の多様な働き方や家庭の実情に応じた子育て支援の充実 →延長保育、休日保育、一時預かりの実施 ・障がいのある子どもや気がかりな子ども、外国籍の子どもに対し保育士を加配し対応 ・地域組織児童健全育成事業として、17全地区において地域での子育て支援事業を実施 ・学童保育27箇所（29クラブ）実施 →登録者数723人 ・ひとり親家庭への小中学校入学支度金の支給 →小学校入学28人、中学校入学59人、中学校卒業72人 ・学習支援の実施 →委託先2箇所（個別支援、ひろば） ・婚活事業として、結婚相談事業・出会いの場創出事業の実施 →結婚相談事業：個別相談（武生地区月4回・今立地区月3回）、本人同士の交流事業1回実施、親同士の交流事業2回実施 出会いの場創出事業：2回実施 ・地域子育て支援センター利用者数の増加 ・市内の全ての中学校で命のぬくもり体験学習として赤ちゃんだっこ体験を抱っこ隊の協力を得て実施 →参加生徒763人、赤ちゃん268人、協力者172人 ・特定不妊治療費を助成 →延べ67件、5,574,127円（29年3月31日現在） ・市オリジナル誕生記念カード「わたしたちの赤ちゃんへ、ちひろのおくりもの」を新生児に贈呈する取組みを開始（28年12月15日～）</p>	

実践プログラム【主な事業計画】										
活動指標等	事業名	指標名	達成状況（年度末見込み）							
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	保育園施設整備事業（民間保育園）	民間保育園整備数	1	1	1	1	3	0	—	—
子育て一時支援事業	一時保育実施施設数	29	30	30	30	30	30	—	—	
子育て支援体制推進事業	地域子育て支援センター数	3	3	3	3	4	4	—	—	
放課後児童クラブ事業	学童クラブ数	27	26	27	27	28	29	—	—	

実践プログラム【数値目標】											
成果指標	指標名	基準値	目標値	達成状況（年度末見込み）							
		（時点）	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	児童館等の整備数（箇所）	11 (H18.4)	17	13	13	15	17	完了	—	—	—
	児童館利用者数（人）	87,102 (H18)	129,000	89,956	90,360	94,521	105,527	121,818	120,547	—	—
	すくすくすまいる事業所登録数（再掲）（件）	0 (H18)	115	71	81	87	94	98	105	—	—
	幼保一体化施設整備地区数（地区）	0 (H18)	11	2	3	4	5	7	11	—	—

総合戦略										
数値目標・KPI	基本目標柱	数値目標KPI	内容	目標値 (H31)	達成状況（年度末見込み）					
					H27	H28	H29	H30	H31	
		基本目標Ⅳ	数値目標	保育園等の待機児童	0人（継続）	0	0	—	—	—
	基本目標Ⅳ	KPI	地域子育て支援センター利用者数	130%増 (H26年度比)	156%	151%	—	—	—	
	基本目標Ⅲ	KPI	中学校での命のぬくもり（赤ちゃんだっこ）体験学習の実施率	100%（毎年度）	100%	100%	—	—	—	
	基本目標Ⅳ	KPI	妊娠及び乳幼児の状況把握率	100%（毎年度）	100%	100%	—	—	—	

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第2章 元気な人づくり

第2節 安心して暮らせる長寿社会の実現

政策	達成度	【特記事項】 ※昨年度と評価が変更したもののみ記載。									
	4 (4)										
施策評価	施策名	目標・取組み概要及び結果・分析								達成度	
	(1) 健康と生きがいがづくり	<p>【目標・取組み概要】 住民主体の新しい介護予防・日常生活支援総合事業の円滑な開始（29年4月）に向け、支援体制の構築を図るとともに、いきいきシニアクラブの活動拡大・会員拡大を図り、高齢者の生きがいがづくりや介護予防につながる。 ①住民主体の介護予防・日常生活支援が広がるよう17地区に地域支え合い推進員を配置するなど、支え合い・助け合いの地域づくりを進める。 ②高齢者の生活支援の体制整備を目指す。 ③つどい開催を185箇所を目指す。 ④いきいきシニアクラブの会員拡大を図る。</p> <p>【結果及び分析】 ①市に2人、15地区に18人の地域支え合い推進員を配置し、地域に出向き、説明会や研修会を実施した結果、支え合い・助け合いについての地域の理解が深まった。 ②高齢者の生活支援やつどいの担い手を育成するため介護予防サポーター養成講座を12会場で実施し、230人の受講があった。 生活支援体制の整備については、2地区で体制が整備された。 今後も地域に出向き、話し合いや研修会を開催し、助け合い・支え合いによる介護予防を進めるとともに住民主体の日常生活支援体制を整備していく。 ③市内全町内でのつどいの開催を目指し、今後、つどいのない町内に対して、地域支え合い推進員や区長と連携を図りながら、立ち上げの支援をしていく。 区長及びつどいの代表者説明会、研修会、計画会を実施し、つどいの開催に向けた支援を行った。さらに、年間12回以上開催の「つどい」に対し、交付金の助成をしたことで、実施回数、箇所数共に増加した。（11箇所増の190箇所） ④いきいきシニアクラブ会員増の取組みに対する助成を新設して会員拡大の支援を図ったところ、新規会員数が増加した。いきいきシニアクラブの活動自体が介護予防につながることから、今後も活動拡大の支援を図る。</p>								4 (4)	
(2) 高齢者福祉の充実	<p>【目標・取組み概要】 高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけるように、地域包括ケアシステムの構築を図る。 ①認知症施策として地域における徘徊模擬訓練の実施や認知症カフェの開設を推進していく。 ②在宅医療と介護の連携を図る。 ③在宅生活を支える地域密着型施設の計画的な整備を図る。</p> <p>【結果及び分析】 ①2地区において徘徊模擬訓練を実施し、市内に1箇所であった認知症カフェは6箇所に増加し、認知症に対する地域理解が深まり、認知症施策が進んだ。地域ぐるみでの認知症予防や見守り体制については着実に前進しており、今後さらに取組みを進める。 ②地域の高齢者を包括的に支援していくため、多職種連携会議を2回、地域ケア推進会議を3回、地域ケア個別会議を5回、住民への在宅ケア普及啓発活動を5回、地域医療連絡会を1回開催し、在宅医療と介護の連携及び地域包括ケア体制の推進が図られた。多職種による個別事例の検討から必要な資源を考え、地域包括ケアシステム構築を図っていく。 ③地域密着型介護施設の小規模多機能型居宅介護施設を1箇所整備し、支援が必要になっても在宅で暮らせる環境を整備することができた。計画的整備に努めている地域密着型介護施設については、グループホーム1箇所、定期巡回・随時対応型訪問介護1箇所を28年度に選考し、29年度に整備予定。</p>								4 (4)		
活動指標等	実践プログラム【主な事業計画】										
	事業名	指標名	達成状況（年度末見込み）							H29	H30
			H23	H24	H25	H26	H27	H28			
	老人クラブ活動支援事業	いきいきシニアクラブ新規加入者数	76	80	165	155	304	380	-	-	
	地域密着型介護施設整備事業	施設整備数	1	1	1	1	0	1	-	-	
介護保険計画事業	介護保険事業計画の年度別給付見込額に対する給付実績額の割合	98.6	97.4	98.1	99.3	95.5	94.5	-	-		
介護予防事業	いきいきふれあいのつどい登録者数	4,643	5,050	5,257	5,537	5,972	6,049	-	-		
成果指標	実践プログラム【数値目標】										
	指標名	基準値	目標値	達成状況（年度末見込み）							
		(時点)	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	要介護等認定者出現率(%)	16.5 (H18.4)	16.5	17.7	17.9	17.8	17.7	17.5	17.4	-	-
	要介護高齢者の在宅生活率(%)	76.57 (H18.10)	80.00	79.40	78.76	79.41	79.48	77.80	78.40	-	-
いきいきシニアクラブ活動参加者数(人)	4,181 (H21.4)	7,500	5,568	6,177	6,493	6,436	6,743	7,387	-	-	
いきいきふれあいつどい箇所数(箇所)	139 (H18.4)	185	167	172	175	178	179	190	-	-	

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第2章 元気な人づくり

第3節 障がい者が安心して暮らせるまちづくり

政策 達成度		3 (3)	【特記事項】 ※昨年度と評価が変更したもののみ記載。							
施策評価	施策名	目標・取組み概要及び結果・分析							達成度	
	(1) 障がい者が安心して暮らせるまちづくり	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>① 28年4月の障害者差別解消法施行に伴い、障がい者の差別解消を図るため、障害者差別解消支援地域協議会の設置、障害者差別解消法の市民への周知、市職員の窓口対応の対策を図る。障がいのある人のサービス等の拡充や、支援体制を整える。</p> <p>② 30年開催の福井しあわせ元気大会に向け、障がい者スポーツの振興やボランティアの育成を図る。</p> <p>③ 障がい者計画及び第4期障がい福祉計画の目標に基づき、引き続き制度や障害福祉サービスの周知を図り、相談支援事業所や関係機関と連携するなど、適正な支援及び支給に努める。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>① 各障がい者団体や関係機関で構成する障害者差別解消支援地域協議会を1月に設置し、関係機関と情報の共有や今後の取組み等について協議した。また、市職員を対象とした研修会の開催や職員対応要領及びガイドラインを作成したほか、ホームページや広報紙、市政出前講座等において障害者差別解消法の市民への周知を図った。</p> <p>窓口にタブレット端末を配置し（1月～）、インターネット電話による手話通訳、外国語翻訳、表示や音声などを使った窓口対応ができる環境を整えた。</p> <p>市職員対応要領に加え、分かりやすいガイドラインを作成した。ガイドライン等を活用し、職員の窓口対応が適切に行われるよう努めるほか、障害者差別解消支援地域協議会を開催して障害を理由とする差別に関する相談や情報の共有、協議を行うことや、市政出前講座や広報紙等による市民への周知など、今後引き続き取り組む。</p> <p>窓口でのタブレット端末の利用については、その活用方法についてさらに工夫しながら、利便性の向上を図る。</p> <p>② レクリエーションとしてのニュースポーツのつどいを市身体障害者連合会に委託し、障がいのある人のスポーツの機会を創出し社会参加を促した。また、福井しあわせ元気大会に向け、障がいのある人がスポーツに気軽に参加でき、スポーツ活動が継続してできるよう障がい者スポーツクラブを支援した。</p> <p>手話養成講座を開催し、30年開催の福井しあわせ元気大会に向けてボランティア育成を図った。</p> <p>③ 相談支援事業所等関係機関と連携を密にしなが、個々に応じた各種福祉制度や障害福祉サービスの適切な支給決定に努めた。</p> <p>障がいがある人が社会生活を送るうえで必要なサービス等を適切に支給することにより、地域生活への自立に向けた支援を図ることができた。</p> <p>重度の障がい者を対象としたタクシー券の助成の見直しについては、障がい者の移動支援の拡充を図ることとし、29年度から実施する。</p>							3 (3)	
活動指標等	実践プログラム【主な事業計画】									
	事業名	指標名	達成状況（年度末見込み）							
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	身体障害者住宅改造費支援事業	改造件数	3	3	2	1	1	1	-	-
相談支援事業	相談利用者数	2,927	3,220	3,359	3,865	1,833	1,904	-	-	
※H27年度より全てのサービス利用者に対し相談支援専門員が付いた。それにより、委託相談は複雑なケースの対応を担っている。										
社会参加促進事業	障害者スポーツ大会参加者数	135	140	141	141	138	147	-	-	
成果指標	実践プログラム【数値目標】									
	指標名	基準値	目標値	達成状況（年度末見込み）						
		(時点)	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
	就労継続支援（A型・B型）事業の利用者数（人）	84 (H20)	400	193	268	282	320	400	423	-
福祉施設から一般就労への移行者数（延べ数）（人）	0 (H18)	81	16	32	38	43	51	60	-	-

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第2章 元気な人づくり

第4節 健やかで元気に暮らせるまちづくり

政策 達成度	3 (3)	【特記事項】 ※昨年度と評価が変更したもののみ記載。	
施策名	目標・取組み概要及び結果・分析		達成度
(1) 健康づくりの推進	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①市健康21計画を推進し健康応援団を増やしていくとともに、データヘルス計画に基づき、市民の健康づくりを推進する。</p> <p>②がん検診の受診率向上のため、イベント会場での女性がん予防キャンペーンを実施する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①健康応援の店は30箇所（13箇所増）、けんこうパスポート延べ発行者数は6,959人（969人増）、また今年度初めて導入した携帯カードは3,437枚を発行した。正しく歩く人を増やすための地区ウォーキング教室は9地区で開催でき延べ398人が参加した。また、子どもが自然に親しみ、歩くことが減少していることから、初めて2保育園で歩育教室を開催した。仁愛大学との連携により市民アンケートを実施し、健康21推進会議において事業評価を行った。</p> <p>市民アンケート結果からけんこうパスポートの利用は不十分であるが、行動指標を日常的に取り組んでいることがわかった。健康応援の店も増えたことからさらに応援団を増やし、応援団と課題の共有を図っていく。若い層への働きかけが必要であり、次年度事業や第3次計画策定へ反映する。</p> <p>②ちびっこフェスティバル等イベント会場での女性がん予防キャンペーンを実施するとともに、休日がん検診を実施した。職員も健診啓発のポロシャツを着用し気運を盛り上げた。</p> <p>イベント会場でのがん検診受診数は少なかったが、来場者層に応じたキャンペーンを実施することにより、日頃は関心が薄い若い層への意識付けを図れた。</p>		4 (4)
施策評価 (2) 身近な医療の確保	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①多職種連携会議などを通じて、地域医療連携部門を持つ医療機関との連携を推進する。</p> <p>②医療・介護のみならず、妊娠期からの医療と保健、福祉の連携を強化していくため、産科医、助産師、小児科医等との連携を強化する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①地域医療協議連絡会等を開催し、地域医療と保健・福祉の課題を共有し、連携の現状と課題について意見交換を行った。</p> <p>②今年度初めて経産婦へのアンケートを実施するとともに、小児科医等で構成する母子保健推進会議に、今年度から産科医等の参加を得ることができ、母子保健の課題を共有し、情報連携シートの活用をスタートできた。</p> <p>・地域医療と保健・福祉との連携は、高齢者医療・福祉に関心が偏りがちとなる。今後も、地域医療協議連絡会などで多職種との協議を進めるとともに、母子保健推進の顔の見える連携体制づくりを図っていく。</p>		3 (3)
(3) 国民健康保険と高齢者医療	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①国保財政の安定運営のため、税率改定後も不足が見込まれる国民健康保険税の収納率向上対策を強化する。</p> <p>②被保険者の高齢化や医療の高度化に伴い増加し続ける医療費の抑制対策を推進する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①収納率向上対策については、27年度と同様、市民福祉部内に通年で国税徴収班を設置、12班体制で毎月臨戸徴収を実施し収納率の向上に努めた。3月末で前年度比較3.49%増の収納率となっている。滞納世帯についても減少した。</p> <p>②医療費抑制対策については、ジェネリック医薬品差額通知を年3回発送しているほか、保険証一斉更新時にジェネリック医薬品希望シール付パンフを同封し利用促進を図った。結果、28年12月末で前年度比8.6%増の70.1%の使用率となり、国が目標とする60%を大きく上回っている。</p> <p>また、病気の早期発見、早期治療が大切なことから健診や人間ドックの受診を推進するため、窓口での国保新規加入者に対する受診推進チラシの配布、課内職員が健診推進ポロシャツを着用しての受診勧奨を実施した。結果、今年度の医療費の伸び率は全体で前年度比0.5%減に抑制された。</p> <p>・保険税率改定により税収は増加したが、被保険者の高齢化や医療の高度化により今後も医療費の増加が続くと予想されることから、引き続き収納率向上対策、医療費抑制対策を推進し、国保財政の安定運営を図っていく。</p>		3 (3)
総合戦略における具体的施策の実施状況	<p>【主な事業の実績等】（再掲）</p> <p>・市内の全ての中学校で命のぬくもり体験学習として赤ちゃんだっこ体験を抱っこ隊の協力を得て実施 →参加生徒763人、赤ちゃん268人、協力者172人</p>		

実践プログラム【主な事業計画】											
活動指標等	事業名	指標名	達成状況（年度末見込み）								
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
	こころの健康づくり【高齢者】	高齢者うつ傾向割合（該当者数/基本チェックリスト調査数*100） (注) H27に調査対象年齢を変更、H28にさらに変更をしており、参考値	9.3	13.4	12.6	12.3	11.3 (参考値)	13.8 (参考値)	—	—	
母子健康診査事業【乳児期】	9～10カ月児健診受診率（受診者数/年間対象者数）	93.5	95.5	95.0	93.5	95.1	95.8	—	—		
歯の健康づくり事業【幼児期】	6歳児むし歯のない子の割合	35.0	38.6	38.0	45.5	47.5	47.3	—	—		
実践プログラム【数値目標】											
成果指標	指標名	基準値	目標値	達成状況（年度末見込み）							
		(時点)	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	乳児保健指導率（%）	80.9% (H23)	99.0	80.9	71.7	90.6	94.2	97.0	98.0	—	—
	がん検診受診率《市が実施する5つのがん検診の平均受診率（職域健診を除く）》（%）	37.3 (H23)	40.0	37.3 (対象年齢変更)	37.2	37.0	36.1	38.1	37.4 (対象年齢変更：胃がん50歳以上)	—	—
	健康寿命（県内9市の健康寿命の順位）（位）	男2位 (78.83歳) 女4位 (83.37歳) (H23)	男女とも 1位	[H22実績] 男2位 (78.83歳) 女4位 (83.37歳)	[H23実績] 男2位 (78.91歳) 女3位 (83.53歳)	[H24実績] 男2位 (78.78歳) 女2位 (83.48歳)	[H25実績] 男3位 (78.89歳) 女6位 (83.40歳)	[H26実績] 男2位 (78.95歳) 女6位 (83.45歳)	[H27実績] 男1位 (79.27歳) 女6位 (83.51歳)	—	—
新健康21推進運動参加数(けんこうパスポート所有数)（人）	0 (H23)	7,500	1,000	1,850	3,116	4,214	5,990	6,959	—	—	
総合戦略											
数値目標・KPI	基本目標柱	数値目標KPI	内容	目標値(H31)	達成状況（年度末見込み）						
					H27	H28	H29	H30	H31		
	基本目標IV	数値目標	合計特殊出生率	1.65人	1.54	1.54	—	—	—		
基本目標III	KPI	中学校での命のぬくもり（赤ちゃんだっこ）体験学習の実施率	100%（毎年度）	100	100	—	—	—			

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第2章 元気な人づくり

第5節 助け合い、支え合う地域社会の形成

政策 達成度		4 (4)	【特記事項】 ※昨年度と評価が変更したもののみ記載。								
施策評価	施策名	目標・取組み概要及び結果・分析								達成度	
	(1) 地域ぐるみ福祉の推進	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①助け合い、支え合うまちづくりを住民と共に考える機会として、町内単位で課題を話し合う福祉座談会「ざぶとん座談会」を行う。</p> <p>②福祉推進員については、委嘱を市と社会福祉協議会、自治振興会3者連名で行い、3者の役割分担を明確にする。その詳細について3者で話し合う。</p> <p>③社会福祉協議会が地域福祉の中心的役割を果たせるよう、支援する。</p> <p>④社会福祉法人改革に伴い、社会福祉法人等による地域福祉活動推進の基盤となる「地域協議会」準備会を設置する。</p> <p>⑤地域見守り体制を強化する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①1月から3月にかけて、南と北日野の2地区でモデル的に行った。多くの会場で「良い機会となった」との声があり、住民同士が地域の課題を話し合うことの大切さを再認識した。その中で、地域における関係性の希薄化、孤立化、高齢者の交通手段の問題、担い手の高齢化などの課題を共有することができた。</p> <p>「ざぶとん座談会」は今後も継続し、2年間を目処に残りの地区においても順次開催する。</p> <p>②福祉推進員の委嘱式は、市、各地区自治振興会、社会福祉協議会の3者連名で行い、その際、地域福祉の担い手も一堂に会した地域福祉に関する研修会を合わせて行う。</p> <p>③市、自治振興会、社会福祉協議会の役割分担を明確にした。</p> <p>④市と社会福祉協議会が地域福祉の施策について事業実施協議会を定例化(月1回)できた。</p> <p>⑤市と各社会福祉法人、地域住民などと公益事業等に関する話し合いを行い「地域協議会」の立ち上げの準備が整った。</p> <p>「地域協議会」が有効に機能するよう、市と社会福祉協議会、社会福祉法人、地域住民などと連携をとり、地域で課題を発見し解決する仕組みづくりを目指す。</p> <p>⑥全国展開のコンビニと地域見守り協定を行い、見守り体制の強化が図られた。協定締結事業所と見守りネットワーク会議を開催し、小さな異変も気軽に連絡いただけるよう、実効性の高い見守り体制づくりに努める。</p>								4 (3)	
(2) 生活困窮者へのセーフティネット	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①自立相談支援事業については、地域住民や関係機関との連携を強化し早期に対応を行い、対象者に応じた細やかな寄り添い支援を行う。</p> <p>②就労準備支援事業については、一人ひとりの課題に応じた寄り添い支援を行い、就労につながる支援を行う。</p> <p>③被保護者については、就労支援員を中心に関係機関と連携し、自立した生活に向け支援を行う。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①民生児童委員等と連携を図り、きめ細やかな支援を行った結果、相談件数は126件(見込み)で、就労支援対象者22人中新規就労者15人、増収者1人、就労活動開始者10人であった。本事業は、生活保護に陥らないよう、セーフティネットの役割を果たしている。地域・関係機関とのさらなる連携強化を図り支援を行っていく。</p> <p>②就労準備支援事業については、一人ひとりが抱える背景は複雑で、就労につなげる前段階での支援にかなりの期間を要するという現実があり、1年間という期間での就労は極めて難しい。前段階での複雑な背景の支援について充実を図り、段階的な寄り添い支援につなぐ。</p> <p>③被保護者については、ハローワークをはじめ関係機関と連携を図り、就労事業参加者42人中就労・増収者18人、就労による廃止3人(見込み)となった。被保護者については、自立した生活が送れるよう、さらなる支援を行っていく。</p>								4 (4)		
活動指標等	実践プログラム【主な事業計画】										
	事業名	指標名	達成状況 (年度末見込み)								
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者の就労者数(増収者含む)(延べ数)				14	25	40	-	-	
成果指標	実践プログラム【数値目標】										
	指標名	基準値	目標値	達成状況 (年度末見込み)							
		(時点)	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	ボランティア講座受講者数	16 (H27)	70	-	-	-	-	53	60	-	-
	福祉推進員数	462 (H28.4)	500	-	-	-	-	462	462	-	-
	就労による生活保護からの自立世帯数(延べ数)(世帯)	14 (H22)	80	22	30	40	45	55	58	-	-
	生活困窮自立支援事業での困窮者の就労者数(人)	38 (H28)	60	-	-	-	-	25	40	-	-
市民バス利用者数(福祉バス含む)(人)	85,760 (H18)	95,000	91,394	94,212	97,290	91,358	92,555	90,857	-	-	
福井鉄道福武線利用者数(人)	1,639,504 (H21)	2,000,000	1,758,736	1,778,348	1,901,681	1,934,550	1,983,679	2,025,816	-	-	

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第2章 元気な人づくり

第6節 人間力を高める教育の充実

政策 達成度	4 (4)	【特記事項】 ※昨年度と評価が変更したもののみの記載。
施策名	目標・取組み概要及び結果・分析	
(1) 就学前教育の充実	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①認定こども園の整備状況など地域の実情に応じた就学前教育の充実を図る。</p> <p>②多子世帯への保育料軽減の拡充を図る。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①私立の認定こども園5園（浪花、東、わかたけ、神山、里山ほか）が開園した。また、29年度から大生幼稚園が「子ども子育て支援新制度」に移行するにあたり、制度の周知や手続き等について連携を図った。今後も、私立幼稚園の子ども子育て支援新制度への移行や園児数の動向などを注視しながら、子どもの「豊かな心」及び「生きる力」の基礎を育てる環境を整える。</p> <p>②幼稚園の保育料は、27年度から公立とともに18歳以下第2子を半額に、第3子以降を無料とし、多子世帯の経済的負担を軽減している。</p>	
(2) 義務教育の充実	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①学校図書館の機能や環境を充実させ、児童の読書意欲や豊かな人間性を育むため、小学校を対象とした学校図書館支援員を配置する。</p> <p>②小学校の外国語活動について、外国青年招致事業（JETプログラム）の活用によるALTを3人配置し充実を図る。</p> <p>③「夢の教室」や「夢先生協働事業」について、日本サッカー協会（JFA）と27年度に締結した3年間の協定に基づき、引き続き事業を推進する。</p> <p>④学校ICT（情報通信技術）環境を効果的に活用し、情報教育と教育の情報化を推進する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①28年度に学校図書館支援員を1人増員し5人体制とし、学校図書館の環境整備の支援、読み聞かせなど読書意欲を高めるための取組みを行い、小学校の読書活動が多様化し強化された。</p> <p>②小学校専属のALTを1人増員し3人体制とし、小学3～6年生の英語に慣れ親しむ活動や外国語活動の環境を整えた。</p> <p>③JFAとの協定に基づき、引き続き夢ある子ども育成事業に取り組み、小学5年生が28回、中学2年生が29回、合計57回の夢の教室を開催し、豊かな心、夢や希望を持って生きる力の育成ができた。</p> <p>④学校ICTを活用した授業が全小中学校で日常的に行われ、また、校務支援システムの使用で教職員の事務負担が軽減したことで、児童生徒と関わる時間や教員間の連携のための時間が増え、教育の質の向上に寄与した。また、特別支援学級に30台、通級による指導の担当教諭に5台の合計35台のタブレット端末を配備し、児童生徒の障がいの状態や特性に応じたICT教育を充実させた。</p>	
(3) 高等教育などの充実	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①若い世代の定住化を促進し地域の活性化を図るため、27年度からスタートさせた市奨学金一部償還免除制度について、積極的なPRに努め、利用を推進する。</p> <p>②福井工業高等専門学校と連携した中学生ロボットコンテストに取り組み、モノづくりに対する創造や意欲の育成を図る。また、28年度から小学生の部を設け、底辺の拡大を行う。</p> <p>③仁愛大学の学生に立地自治体への理解を深めてもらうことにより、地元の充実発展を担う一員であることへの意識づけや定住促進につなげる。また、JR武生駅前の空き店舗を借り上げ整備した「仁愛大学アンテナショップ駅前サテライト」について、まちなかの活動拠点施設として、学生のみならず、地域活動の場として活用を促す。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①奨学金の一部償還免除制度の実績は、27年度4人、28年度は6人であった。12月に、丹南地区の県立高校、福井高専及び福井市内の私立高校（計12校）を訪問し制度の周知を図るとともに、その他の県内の高校35校に募集案内や掲示板チラシを郵送し、周知・PRを図った。</p> <p>②福井高専との共催による中学生ロボットコンテストを9月25日に開催し、46チーム133人（27年度比9チーム31人の増加）が参加した。このうち、今大会から新設された小学生チームによるチャレンジ部門には、11チーム28人が参加した。なお、夏休みには福井高専指導によるロボット関連講座を2回開催し、モノづくりの意欲や技術を高めることにつながった。</p> <p>③仁愛大学1年生には、越前市をフィールドとした地域学習の授業（基礎演習）として、たけふ菊人形や蔵の辻周辺見学、市計画「健康21」や「子ども条例」の講義・意見交換会等を行った。2年生には、「ふくい総合学（越前市版）」において市長及び市職員が市の施策に関する講義を行い、学生に立地自治体の理解を深めてもらうことができた（受講生約90人）。駅前サテライトについては、28年7月23日に本施設を活動拠点として仁愛大学による「サンフェス2016」等を実施、賑わいを創出した。</p>	
(4) 青少年の健全育成	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①青少年を取り巻く有害環境対策として、「子どもを有害情報から守る」「薬物乱用防止教育等の充実を図る」「子どもを犯罪被害から守る」という3項目を重点目標に設定し、取組みを推進する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①インターネット利用のルールを定めた「我が家のインターネット10カ条」の順守確認を、年3回親子で実施するとともに、保護者の意識高揚を図るため、ペアレンタルコントロール（親の管理）委員会の充実を呼びかけた。青少年の発達段階に応じた保護者の管理（ペアレンタルコントロール）への支援の重要性について、市PTA連合会、校長会など一定の理解が広まった。</p> <p>中学校全学年及び小学校5、6年生を対象に、薬物乱用防止教室を開催した。</p> <p>補導委員及び地域の見守り隊による見守り活動を実施した。</p>	

	総合戦略における具体的な施策の実施状況	【主な事業の実績等】 ・小中学校における「夢の教室」実施率100%：小学5年生28回、中学2年生29回、合計57回 ・小中学校における「ふるさと教育」（越前市への愛をはぐくむ教育）実施率100% ・ふくい総合学を通じ、市総合戦略についての講義を実施し本市の取組みについて理解を深めた。 ・仁愛大学アンテナショップ駅前サテライトにおいて、市民との交流活動や会議等が開催された。（利用件数76件、利用者数 延べ約1,372人）										
実践プログラム【主な事業計画】												
活動指標等	事業名	指標名	達成状況（年度末見込み）									
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30		
	学校教育施設等耐震化事業（学校改築事業）	校舎改築学校数及び棟数	3校8棟	4校9棟	5校11棟	5校12棟	5校12棟	完了	－	－		
	学校教育施設等耐震化事業（学校改築事業）	屋内運動場改築学校数及び棟数	2校2棟	2校2棟	4校4棟	4校4棟	4校4棟	完了	－	－		
	学校教育施設等耐震化事業（学校耐震補強事業）	耐震補強学校数及び棟数	7校14棟	11校20棟	11校20棟	14校23棟	16校32棟	完了	－	－		
	小学校教育振興事業	教育用コンピュータ整備及び維持	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	－	－		
	中学校教育振興事業	教育用コンピュータ・L L教室整備及び維持	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	－	－		
	英語教育推進事業	A L Tによる英語活動回数（1学級あたり平均値）	13	13	14	14	14	14	－	－		
夢ある子ども育成事業	児童・生徒の夢への関心度（夢を持ちたいと強く思うと答えた児童の割合が授業後にアップした学級の割合）	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	－	－			
実践プログラム【数値目標】												
成果指標	指標名	基準値	目標値	達成状況（年度末見込み）								
		（時点）	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
	デジタル教科書活用率（%）	60（H22）	100.0	65.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	－	－
	児童生徒朝食喫食率（%）	96（H17.10）	100.00	99.78	99.74	99.23	99.41	99.28	99.37	－	－	
	幼保一体化施設整備地区数（再掲）（地区）	0（H18）	11	2	3	4	5	7	11	－	－	
	小学校給食における地場産（県内）食材使用率（再掲）（%）	30.1（H17）	47.0	33.9	44.1	39.3	43.7	48.5	51.8	－	－	
福井型コミュニティ・スクール数（校）	4（H18）	24	24	24	24	24	24	24	－	－		
総合戦略												
数値目標・K P I	基本目標柱	数値目標 K P I	内容	目標値（H31）	達成状況（年度末見込み）							
					H27	H28	H29	H30	H31			
	基本目標Ⅱ	K P I	小中学校での人口問題に関する教育実施率	100%（毎年度）	100	100	－	－	－			
	基本目標Ⅳ	K P I	小中学校における「夢の教室」実施率	100%（毎年度）	100	100	－	－	－			
基本目標Ⅳ	K P I	小中学校における「ふるさと教育」（越前市への愛を育む教育）	100%（毎年度）	100	100	－	－	－				

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第2章 元気な人づくり

第7節 主体的に学びを生かす生涯学習社会の実現

政策 達成度		4 (4)	【特記事項】 ※昨年度と評価が変更したもののみ記載。
施策名	目標・取組み概要及び結果・分析		達成度
施策評価	(1) 生涯学習の充実	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①子どもを真ん中において地域の大人が協力することで、地域のコミュニティづくりを推進するとともに、地域への積極的な関わりを促す。</p> <p>②公民館において青年学級を推進するとともに、青年の自主的な活動を支援する。</p> <p>③生涯学習センターでの学習成果を地域貢献につなげる。</p> <p>④地区公民館の建物の機能を維持していくため、計画的に屋上防水工事等を実施していく。</p> <p>⑤中央図書館開館10周年記念事業の実施や「出かける図書館」による団体貸出の利用拡大を図ることにより、「読書のまち宣言」の取組みを推進する。</p> <p>⑥28年度で計画期間が終了する市子ども読書活動推進計画を改定し、子どもの読書活動支援のための基盤整備を図る。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①子ども会壁新聞コンクールに15地区で348人参加、子ども会かるた大会に12地区で131人参加、成人式参加率87.6%、同地区の集い17地区で実施、合宿通学に13地区で388人参加、体験宿泊に4地区で55人参加</p> <p>②青年の自主的な活動を公民館が企画段階から支援し、4地区(南・吉野・神山・大虫)合同の青年による「ハロウィンフェスティバル」や、今立地区の青年による「おかもとイルミフェスタ」を開催した。</p> <p>③生涯学習センターの着付け教室の受講者に対し、市サマーフェスティバルのふるさと踊りへの参加を促し、14人が自分たちで浴衣を着て参加した。</p> <p>④王子保公民館・北新庄公民館の屋根屋上防水工事を行った。</p> <p>⑤開館10周年記念事業や「本の福袋」など、各種事業の実施や団体貸出を推進することにより、図書館入館者や貸出冊数の増加を図った。また、図書館職員研修への学校図書館支援員の参加や、図書館職員の学校図書館訪問など、学校等と連携し子どもの読書活動の環境整備を進めた。</p> <p>⑥市子ども読書活動推進計画は、29～33年度の計画を年度末に決定し、家庭・地域・学校が連携し、子どもの読書活動を支援する体制を整備した。</p>	4 (4)
	(2) 家庭及び地域における教育力の向上	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①出かける家庭教育サロンとして、家庭教育推進員を派遣し学習機会を提供するとともに、親同士の仲間づくりを進め、子育てを支援する。</p> <p>②子ども達の放課後の安心・安全な居場所づくりと様々な体験活動の機会を提供するため、地域住民の参画により、全地区において放課後子ども教室や合宿通学事業の推進を図る。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①出かける家庭教育サロンを19団体、39件実施し、学習機会の提供、親同士の仲間づくりを支援し、家庭教育の充実を図ることができた。今後は、さらに広く活用されるよう周知に努めていく。</p> <p>②放課後子ども教室を17地区で実施し、放課後の子どもたちの安全な居場所を確保しながら様々な体験活動を実施することができた。合宿通学を13地区で実施し388人参加、体験宿泊を4地区で実施し55人参加。</p>	4 (4)
	総合戦略における具体的施策の実施状況	<p>【主な事業の実績等】</p> <p>・放課後子ども教室を実施し、放課後の子どもたちの安全な居場所を確保するとともに、様々な体験活動を実施し、児童の健全な育成を図った。</p>	

実践プログラム【主な事業計画】											
事業名	指標名	達成状況 (年度末見込み)									
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30		
活動指標等	公民館施設管理事業 ※27年度までは生涯学習センターを含む()内表示	公民館利用者人数/全市民	(49.2)	(50.1)	(48.9)	(48.1)	(47.2)	42.5	—	—	
	生涯学習センター講座開催事業	講座参加者数/対象者数	7.60	7.61	8.81	7.80	7.50	6.02	—	—	
	地区公民館講座開催事業	講座利用者率(講座参加者数÷対象者数)	3.5	4.2	3.9	4.2	5.6	5.3	—	—	
	放課後子ども教室推進事業	子ども教室一人当たり参加回数	3.3	4.1	4.4	4.5	5.1	5.3	—	—	
	図書館資料提供サービス事業	図書貸出冊数	517,692	509,000	484,939	513,254	525,987	526,808	—	—	
実践プログラム【数値目標】											
指標名	基準値	目標値	達成状況 (年度末見込み)								
	(時点)	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
成果指標	市民一人当たりの図書貸出し数(冊)	2.7(H17)	6.3	6.1	6.0	5.8	6.2	6.3	6.4	—	—
	公民館利用者数(人) ※27年度までは生涯学習センターを含む()内表示	378,102(H17)	(500000) 420000	(487,004)	(493,427)	(490,241)	(482,579)	(473,716)	424,957	—	—
	出かける家庭教育サロン参加者数(人)	1,797(H17)	2,700(人)	1,398	1,930	—	—	—	—	—	—
	出かける家庭教育サロン実施回数(回)	36(H24)	40(回)	—	36	39	38	44	44	—	—
総合戦略											
基本目標 柱	数値目標 K P I	内容	目標値 (H31)	達成状況 (年度末見込み)							
				H27	H28	H29	H30	H31			
基本目標Ⅲ	数値目標	婚姻数	105% (26年度354件比)	92% 327件	93% 330件	—	—	—	—		
基本目標Ⅲ	K P I	出会いの場の創出支援件数	年5回以上	2	7	—	—	—	—		
基本目標Ⅲ	K P I	親同士の結婚情報交換の場の提供回数	年6回以上	0	3	—	—	—	—		
基本目標Ⅲ	K P I	中学校での命のぬくもり(赤ちゃんだっこ)体験学習の実施率	100%(毎年度)	100	100	—	—	—	—		

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第2章 元気な人づくり
第8節 誇れる歴史、芸術文化の創造

政策 達成度		4 (4)	【特記事項】 ※昨年度と評価が変更したもののみ記載。								
施策評価	施策名	目標・取組み概要及び結果・分析							達成度		
	(1) 芸術・文化の振興	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①市民の芸術文化活動を支援するとともに、市民の芸術鑑賞機会を拡充する。 ②芸術文化関係団体と連携し、人材の確保と育成を図る。 ③指定管理者による効率的な管理運営を行うことで、文化芸術施設の有効活用に努める。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①武生中央公園再整備計画の中で、文化センターと公園が連携して市民が憩える場を提供するために、老朽化した中ホールを解体した。 ②文化センター利用者が増加するとともに、多種多様な自主文化事業を多く開催することで、利用者が245,058人と増加した。 ③いまだて芸術館の指定管理者について、効率的な管理運営及び自主文化事業の相乗効果を図るために、文化センター・ふるさとギャラリー叔羅を管理している公益財団法人越前市文化振興・施設管理事業団を選定した。</p>							3 (3)		
活動指標等	(2) 歴史的資源の継承と活用	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①市内の歴史や文化財の調査・研究を継続的に行い、文化財の指定或いは登録文化財に推薦する。 ②重要文化財の和紙製作道具及び製品の適正な管理をするために、収蔵庫の建設準備に着手する。 ③古文書等の調査・収集を継続的に行うとともに、越前市史資料編を発刊する。 ④越前市に関連する歴史・文化を掘り起こし、その成果を特別展・企画展等で紹介する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①市内の文化財の調査により、本年度は市指定3件の文化財が新たに指定された。 ②重要有形文化財の和紙製作道具及び製品の収蔵庫建設のため、今立歴史民俗資料館収蔵資料の移転を行った。 ③越前市史資料編『本多富正関係文書』を発刊した。今後は、市史資料編『古代』（仮称）を発刊する。 ④武生公会堂記念館において、様々なテーマにより、企画展、特別展、企画公募展、館藏品展の展示を行い、市民へ歴史・文化財に触れる機会を提供し、市内文化情報の発信拠点として引き続きまちなかの賑わいの創出に努めることができた。</p>							4 (4)		
	実践プログラム【主な事業計画】										
活動指標等	事業名	指標名	達成状況 (年度末見込み)								
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
	埋蔵文化財調査事業	試掘確認範囲 (ha)	0.03	0.02	0.08	0.02	0.02	0.15	—	—	
	武生公会堂記念館展示整備事業	(上段) 入館者数 (下段) 入館者数/開催日数 = 1日あたりの入館者数	18,448 65	19,018 92	8,427 57	20,642 69	16,399 54	15,672 53	—	—	
市史編さん事業	市史編さん史料収集数 (累積概数)	291,161	293,230	294,758	296,835	299,060	299,531	—	—		
成果指標	実践プログラム【数値目標】										
	指標名	基準値 (時点)	目標値 H30	達成状況 (年度末見込み)							
				H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	登録有形文化財数 (件)	6 (H18)	18	12	12	15	15	17	17	—	—
市内の文化振興5施設 利用者数 (人)	157,998 (H17)	220,000	204,680	201,779	193,963	183,397	216,750	319,267	—	—	

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第2章 元気な人づくり

第9節 生涯スポーツのまちづくり

政策 達成度		3 (3)	【特記事項】 ※昨年度と評価が変更したもののみ記載。									
施策評価	施策名	目標・取組み概要及び結果・分析										達成度
	(1) 生涯スポーツのまちづくり	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①市スポーツ推進プランに基づき、する、観る、支えるの観点から生涯スポーツを推進する。 ②30年開催の福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会については、魅力ある国体となるよう本市開催種目の施設整備を図る。 ③市スポーツ施設再配置計画や武生中央公園再整備計画に基づいたスポーツ施設の整備を進めるとともに、スポーツ施設の効果的で効率的な運営・維持管理を推進する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①生涯スポーツ推進のため、通年で中央スポーツ教室（10教室86人）、地区スポーツ教室（56教室800人）を開催し、推進を図っているが、スポーツ施設利用者数については、横ばいの推移となっている。また、福井ミラクルエレファントやサウルコス福井を協賛し、地域プロスポーツの振興と市民の「観るスポーツ」の推進を図った。 ②武生東運動公園ソフトボール場改修、武生中央公園庭球場管理棟改築工事が完了し、新体育館については、29年8月完成を目指し順調に進捗している。 ③市スポーツ施設再配置計画に基づき、今立ふれあいプラザを廃止したほか、武生東運動公園陸上競技場や今立体育センターのトイレ改修等を行った。また、各施設における修繕等についても適時に対応した。</p>										3 (3)
活動指標等	実践プログラム【主な事業計画】											
	事業名	指標名	達成状況（年度末見込み）							H29	H30	
			H23	H24	H25	H26	H27	H28				
菊花マラソン大会開催事業	参加人数（申込者）	4,339	4,301	4,407	4,311	3,988	3,855	—	—			
成果指標	実践プログラム【数値目標】											
	指標名	基準値	目標値	達成状況（年度末見込み）								
		(時点)	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
スポーツ総合型地域スポーツクラブ設立数（団体）	4 (H18)	9	7	8	8	8	9	9	—	—		
スポーツ施設の利用者数（人）	611,000 (H18)	670,000	632,000	598,146	605,789	606,100	625,090	581,231	—	—		

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第3章 快適で住みよいまちづくり

第1節 秩序ある土地利用の推進

政策 達成度	4 (3)	<p>【特記事項】※昨年度と評価が変更したもののみ記載。 ・策定した市都市計画マスタープランと市立地適正化計画については、持続可能なネットワーク型コンパクトシティの形成を図るため、出前講座等の説明会を開催し、広く市民・事業者等へ周知に努めた。</p>								
施策評価	施策名	目標・取組み概要及び結果・分析								達成度
	(1) 秩序ある土地利用の推進	<p>【目標・取組み概要】 ①市都市計画マスタープランの土地利用方針を達成するため、市住みよい街づくり推進条例に基づき、適正な宅地開発の規制誘導を図るとともに、地域街づくり計画策定のための技術的な支援説明を行う。 ②コンパクトなまちづくりの推進を目指し、市都市計画マスタープランの改定に加え、都市再生特別措置法の一部改正に基づき、医療、福祉、商業施設などの誘導を図る都市機能誘導区域と、居住の誘導を図る居住誘導区域を定める市立地適正化計画を28年度末に策定した。</p> <p>【結果及び分析】 ①市住みよい街づくり推進条例に基づき、開発行為等の申請者に対し、事前協議を20件実施し、適正な誘導を図るとともに、地域街づくり計画策定のための技術的な支援説明を6回行った。住民主体による土地利用の推進を図る。 ②昨年度からの議論を踏まえ、計7回の策定委員会を開催し、パブリック・コメントや市民説明会を開き議論を深め、28年度末に策定したことにより、都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加え、居住や都市機能のゆるやかな誘導を図り、コンパクトシティ形成に向けた取組みを推進する。</p>								4 (3)
活動指標等	実践プログラム【主な事業計画】									
	事業名	指標名	達成状況 (年度末見込み)							
地域街づくり計画策定事業	行政からの地域街づくりへの支援 (技術的な支援説明回数/年間)	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
		5	5	5	5	5	6	-	-	
成果指標	実践プログラム【数値目標】									
	指標名	基準値 (時点)	目標値 H30	達成状況 (年度末見込み)						
地区計画の認定数・まちづくり協定数 (延べ数) (件)	7件 (H18)	21	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
		18	18	18	18	18	18	-	-	

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第3章 快適で住みよいまちづくり
第2節 コンパクトで機能的な都市構造の形成

政策 達成度	4 (3)	【特記事項】 ※昨年度と評価が変更したもののみ記載。 ・28年度から市ホームページに掲載した、住まい情報バンク(通称おうちナビ)にて、空き家・空き室情報を一元的に集約して、さらに住宅支援制度、相談窓口の紹介などの情報提供をし、定住化の促進を図ることに努めた。 ・第3期市中心市街地活性化基本計画を策定し、内閣総理大臣の認定を受けることができたことで、今後も魅力ある中心市街地の形成を強力に推進する。
施策名	目標・取組み概要及び結果・分析	達成度
(1) 魅力ある中心市街地の形成	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①新庁舎の建設や武生中央公園の再整備など、半世紀に一度のまちづくりを、中心市街地活性化の絶好の契機と捉え、これまで進めてきた第2期市中心市街地活性化基本計画の取組みを踏まえ、新たに第3期市中心市街地活性化基本計画を策定するとともに、本年度11月の国の認定を目指す。</p> <p>②平成27年4月に設立した、まちづくり武生(株)と連携し、“まちの顔づくり”“暮らしの再生”“賑わいの再生”の三つの中心市街地活性化のテーマのもと、中心市街地における居住促進、にぎわい創出、商業振興等に総合的に取り組み、中心市街地の活性化を推進する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①第3期市中心市街地活性化基本計画の策定に向けては、昨年度から引き続き計8回の策定委員会を開催し議論を深める中で策定案をまとめるとともに、パブリック・コメントや中心市街地活性化協議会の意見を踏まえ、昨年9月に第3期市中心市街地活性化基本計画を策定した。その後、国に対し認定の申請を行い、11月29日付けで認定を受けることができた。平成35年春には北陸新幹線南越駅(仮称)の開業が予定されていることから、平成34年3月までの計画期間を正念場として、今後も強力に中心市街地活性化の取組みを進める。</p> <p>②中心市街地活性化の取組みに対し次のような成果があった。第3期基本計画の数値指標については、すべての指標において目標を達成することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住促進：まちなか優良賃貸住宅整備促進事業4件、新婚夫婦定住化支援事業16件、まちなか空き家等リフォーム支援事業3件の申請あり。また、住まい情報バンク(愛称おうちナビ)については、サイトアクセス数が56,525件あり、成約は売買戸建4戸、賃貸戸建3件の実績あり。以上の取組みから76人の中心市街地への移住者に繋がった。 ・にぎわい創出：まちづくり武生(株)によるイベントサポートもあり、蔵の辻における生バンドによる定期ライブ公演や、北府駅における地元の愛する会主催の定期イベント開催など、各種団体の自主的な活動によりそのイベント回数は59回を達成した。 ・商業振興については、施策によるまちなか開業件数5店の実績があった。 	4 (3)
(2) 質の高い一般市街地の形成	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①市都市計画マスタープランの土地利用方針を達成するため、市住みよい街づくり推進条例に基づき、適正な宅地開発の規制誘導を図るとともに、地域街づくり計画策定のための技術的な支援説明を行う(再掲)。</p> <p>②コンパクトなまちづくりの推進を目指し、市都市計画マスタープランの改定に加え、都市再生特別措置法の一部改正に基づき、医療、福祉、商業施設などの誘導を図る都市機能誘導区域と、居住の誘導を図る居住誘導区域を定める市立地適正化計画を28年度末に策定する(再掲)。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①市住みよい街づくり推進条例に基づき、開発行為等の申請者に対し、事前協議を20件実施し、適正な誘導を図るとともに、地域街づくり計画策定のための技術的な支援説明を6回行った。住民主体による土地利用の推進を図る(再掲)。</p> <p>②昨年度からの議論を踏まえ、計7回の策定委員会を開催し、パブリック・コメントや市民説明会を開き議論を深め、28年度末に策定したことにより、都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加え、居住や都市機能のゆるやかな誘導を図り、コンパクトシティ形成に向けた取組みを推進する(再掲)。</p>	4 (3)
(3) 自然と調和した田園森林地域の形成	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①水田魚道を整備2箇所、また不耕作水田において、コウノトリの餌となる水生生物の生息環境を整備する。</p> <p>②特定外来生物の拡大の防除、希少野生動植物を保全していくための研修会の開催、産卵場所や生息地の保全活動を実施する。</p> <p>③コウノトリの野外定着の実現に向けて、「2016コウノトリが舞う里づくり大作戦」の開催や、コウノトリPR館でコウノトリ飛来やコウノトリが舞う里づくりの取組みを情報発信する。</p> <p>【結果及び成果の分析】</p> <p>①水田魚道を2基整備。また、モデル水田退避溝を黒川町、都辺町、中野町、牧町の4箇所にて延708m整備し、水生生物が生息できる環境を創出した。水田退避溝や水田魚道、ピオトープの整備などを西部地域に重点を置きながら実施し、餌場環境の拡大を図ったことから自然環境が再生され、28年4月から野外コウノトリのつがいが定住し、29年3月には卵を産み、今後も、市内全域でコウノトリの餌場環境の整備を行っていく。</p> <p>②特定外来生物オオフサモのモニタリング、駆除活動を実施。また、希少野生生物保全研修会を実施した。今後も希少野生生物保全研修会のほか、「コウノトリ&生きもの教室」等の学習会やイベントを開催し、市内外に周知を図る。</p> <p>③9月25日福井県による2羽のコウノトリの放鳥式を開催。10月16日「2016コウノトリが舞う里づくり大作戦」を開催した。「コウノトリが舞う里づくり図画コンクール」では、300点を超える作品の応募があり、市内小学生や市民に事業の周知が図られた。引き続き「コウノトリが舞う里づくり大作戦」や小学生を対象とした図画コンクールを実施するとともに、ホームページや「コウノトリPR館」の展示を定期的に更新するなど、コウノトリが舞う里づくり事業をPRする。</p>	4 (4)

総合戦略における具体的施策の実施状況	【主な事業の実績等】 まちなか優良共同住宅整備促進事業 33戸 住まい情報活用支援事業 56, 525アクセス数 空き家解体支援事業 3件 まちなか住宅取得支援事業 9件、住宅取得緊急支援事業 155件 まちなか空き家等リフォーム支援事業 3件(10件/5年間) 新婚夫婦定住化支援事業 110人(600人/5年間) ・28年5月21・22日に東京ミッドタウン、7月30日にハービスHALLで(株)日経BPが開催した「WOMAN EXPO」に越前市ブースを設置し移住相談会やアンケート調査を実施(アンケート回答者:東京1,045人、大阪600人)。その結果、都市部若年世代には相当数の地方移住検討者がいること、都市部で生活する若年世代への情報発信の強化が必要なが分かった。合わせてステージイベントにおいて、本市へのUIターン者の協力により、住み良さや働きやすさ、子育て教育環境の良さなど、本市の様々な魅力をPRを行った。											
	実践プログラム【主な事業計画】											
活動指標等	事業名	指標名	達成状況 (年度末見込み)									
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30		
	中心市街地活性化事業<再掲>	まちなか開業支援件数(新規)	7	7	4	6	6	5	-	-		
	公有地等購入支援事業	まちなか住宅用地および用途地域内(組合施行土地区画整理事業の保留地等)の購入資金利子補給制度の新規交付件数	8	13	7	9	1	4	-	-		
	まちづくり組織支援事業	空き家、空き店舗の橋渡し件数	29	13	8	3	9	7	-	-		
	景観まちづくり推進事業	街並み景観整備件数	9	9	6	4	1	1	-	-		
	民間優良共同住宅整備促進事業	整備戸数	25	0	0	10	0	33	-	-		
	まちなか住宅団地整備支援事業	中心市街地における住宅団地整備に対する補助		2	0	0	4	0	-	-		
	新婚夫婦家賃補助	申請件数	-	78	159	111	76	85	-	-		
	コウノトリが舞う里づくり事業	水田退避溝の設置されている水田面積(ha)	-	-	-	3.3	5.8	6.1	-	-		
水田ビオトープの面積(ha)		1.4	2.6	2.9	3.6	4.0	4.5	-	-			
水田魚道数		3	8	10	12	14	16	-	-			
成果指標	実践プログラム【数値目標】											
	指標名	基準値	目標値	達成状況 (年度末見込み)								
		(時点)	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
中心市街地の居住施策に伴う人口増(人)	0(H25.4)	456	(第2期中心市街地活性化基本計画の数値目標)			158	222	316	-	-		
中心市街地の居住施策に伴う移住者数(累計・人)	64(H27)	200	(第3期中心市街地活性化基本計画の数値目標)			-	-	76	-	-		
数値目標・KPI	総合戦略											
	基本目標柱	数値目標KPI	内容	目標値(H31)	達成状況(年度末見込み)							
					H27	H28	H29	H30	H31			
	基本目標I	KPI	空き家リフォーム件数(延べ)	10件/5年間	6	9	-	-	-			
基本目標V	KPI	まちなかでの市民活動の回数	58回/年(平成28年度)	56	59	-	-	-				

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第3章 快適で住みよいまちづくり
第3節 うるおいのある住環境の創出

政策 達成度	3 (3)	【特記事項】 ※昨年度と評価が変更したもののみ記載。
施策名	目標・取組み概要及び結果・分析	
(1) 良好な都市景観の形成	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①良好な景観の形成を図るため、市景観計画、市景観条例、県屋外広告物条例に基づき景観形成基準等を遵守するよう適切な規制誘導を行う。 特に県条例の改正に伴い、新たな基準に適合しなくなった広告物について、「福井しあわせ元気国体」の開催までに改善が進むよう、期間を限定し、撤去、改修費用の一部を支援する屋外広告物景観改善支援事業補助金を創設したため、事業者等に周知を図り、広告物の改善に取り組む。</p> <p>②個性的でうるおいある景観づくりを推進するため、街並み景観整備事業等により、景観を保全する。</p> <p>③ふるさと百景を生かした景観づくり推進事業の推進を図るため、地域の活動を支援するとともに、吉野瀬川桜回廊（上太田町）を整備する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①市景観計画、市景観条例、県屋外広告物条例に基づき、28年度の建築（14件）、屋外広告物（350件）の届出を受け、景観形成基準等の遵守について指導した。また、屋外広告物景観改善支援事業については、2件の広告物の撤去に対し補助を行った。今後も、良好な景観形成を図るため、市景観計画、市景観条例、県屋外広告物条例に基づき、適切な規制・誘導に努める。</p> <p>②伝統的民家普及促進事業（1件）の修景整備補助を行ったほか、ふるさと百景活動（1団体）の支援を行った。</p> <p>③吉野瀬川桜回廊（上太田町）の舗装工事を行い、桜回廊の整備を完了した。今後も景観づくりの推進に努める。</p>	
(2) 公園・緑地の整備と維持管理	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①市のセントラルパークである武生中央公園、地区公園としての瓜生水と緑公園の計画的な整備を進める。</p> <p>②紫式部公園、武生東運動公園の計画的な改修を進める。</p> <p>③都市公園（街区公園76箇所、近隣公園以上18箇所）の維持管理については、指定管理者、地域住民が連携し、良好な維持管理を推進する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①武生中央公園については、日本を代表する絵本作家であるかこさとし氏の監修を受け、28年9月に正面エントランス広場の供用を開始し、29年8月の市民の広場の供用開始を目指し整備工事を発注した。29年のプレ国体、30年の国体開催を踏まえ計画的に整備を推進する。</p> <p>②紫式部公園は、紫式部像の修復工事を行うとともに、ふるさとを偲ぶ散歩道からの入口を新設した。また、武生東運動公園は、トイレの改修を行った。</p> <p>③都市公園の維持管理については、指定管理者、地域住民が連携を図り、良好な維持管理を実施した。引き続き指定管理者（武生森林組合）とともに、地域が愛着を持ち、活用できる都市公園の維持管理を推進する。</p>	
(3) 良質な住宅の供給	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①既設市営住宅の質的向上や長寿命化を図るため、市営住宅長寿命化計画に基づき、設備改修、屋根改修等改善工事を入居者の協力を得て、円滑に進める。</p> <p>②まちなか居住と定住化を促進するために民間事業者による質の高い共同住宅の供給を図る。</p> <p>③大規模地震の被害を低減するため、促進計画に基づき、木造住宅の耐震診断及び耐震改修の普及促進を図る。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①市営住宅（馬上免団地、八王子団地等）の質的向上や長寿命化改善工事（設備改修、屋根改修等）を入居者と調整を密に行い、計画どおり実施できた。今後も、日常の点検を強化しながら市営住宅長寿命化計画に基づき、予防保全的（長寿命化）改善工事を計画的に実施する。</p> <p>②まちなか優良賃貸住宅において、建設補助33戸（元町4戸、堀川町29戸）の支援を行った。まちづくり武生（株）と連携を図るなど広報活動の強化を図り、民間事業者による質の高い共同住宅の供給を推進する。</p> <p>③木造住宅の耐震診断と補強プランがそれぞれ13件、改修工事が1件あった。木造住宅の耐震化に理解を深めるために、出前講座の開催や戸別訪問等を行い、耐震化の周知・啓発を図っていく。</p>	

<p>施策評価</p>	<p>(4) 上水道の整備</p>	<p>【目標・取組み概要】 ①28年3月に改定した市水道ビジョンに従い、市水道施設更新計画を策定し、今後増大する老朽管の更新や耐震化、経営の効率化や経営基盤の強化を図る。 ②維持管理事業については、効率的な施設管理に努め、安全で安定した水道水の供給及び経営に努める。 ③第5次拡張事業については、安定供給のため、白山地区への水道施設の整備を進める。 ④越前市の安全で安心な水道水についてPRを行う。</p> <p>【結果及び分析】 ①29年3月末に市水道施設更新計画を策定した。短期計画期間については、水道ビジョンの目標年次を考慮して、29～37年度までとした。これにより、具体的な水道施設更新の方針が定められた。 ②25年度から民間事業者との包括委託業務契約により、効率的な施設管理に努めた。また、漏水調査業務の実施により適切な有収率の確保に努めた。引き続き、包括委託による効率的な施設管理を行っている。 ③第5次拡張事業については、県工事（吉野瀬ダム関連）の進捗に合わせて施設の整備を行った。県工事（吉野瀬ダム関連）に合わせ、白山地区への施設整備を進めていく。 ④越前市の安全で安心な水道水について、市ホームページ及び丹南ケーブルテレビの情報ナビでPRを行った。今後も、安全で安心な水道水についてPRを行っていく。</p>	<p>3 (4)</p>
	<p>(5) 下水道の整備</p>	<p>【目標・取組み概要】 ①下水道事業については、事業の経営健全化に向けた中長期的な基本計画となる市下水道事業経営戦略の策定や、消化ガスを売却して新たな収益を得るなど、下水道事業の経営基盤の強化に取り組む。 ②下水道整備については、35年度の汚水処理人口普及率100%を目標とし、市下水道整備基本構想に基づき、計画的かつ効率的な整備に取り組む。 ③水洗化促進については、下水道整備区域内の早期接続促進を目標に掲げ、整備拡張する区域や整備完了した区域及び排水設備指定工事店等に対して説明会を開催するなど、下水道接続による環境改善や地域ぐるみ接続奨励金等の各種制度の周知に取り組む。 ④下水道処理施設の維持管理については、放流水全ての水質基準を満たすことを目標に、下水道処理施設の適切な維持管理を行い、計画的な処理施設の改築更新に取り組む。また、老朽化した管路施設については、定期的なカメラ調査等による効率的・効果的な維持管理に取り組む。</p> <p>【結果及び分析】 ①市下水道事業経営戦略の策定については、下水道事業推進対策協議会での審議や、パブリック・コメントの意見を集約する中で、38年度までの下水道事業の基本計画を策定した。これにより、経営基盤強化に向けた体制を構築できた。また、消化ガスの売却については「民設民営方式」を採用し、プロポーザルにより業者を決定した。なお、売却開始は経済産業省等への法手続きが完了する29年10月からの見込みとなっている。 ②下水道整備については、本年度予定区域の整備が計画通り完了した。35年度汚水処理人口普及率100%に向けた整備が着実に進捗している。 ③水洗化促進については、28年度から始まった地域ぐるみ接続奨励金制度に19地区が取り組むなど、制度導入の効果がみられ、当初の接続目標700件に対し925件の接続を達成し、水洗化率が順調に伸びている。 ④下水道処理施設の維持管理については、特定事業場の排水の定期的な調査・管理や指導を行うとともに、処理場の適正な運転管理により、放流水全てが法で定められた基準や市の自主基準を満たした。また、管路施設調査については、カメラ調査等により約5.5kmの管口調査を実施するなど、計画的に経年化した管路の調査を行っている。</p>	<p>4 (3)</p>
<p>総合戦略における具体的施策の実施状況</p>	<p>【主な事業の実績等】 高齢者向け優良賃貸住宅賃補助 131戸、まちなか優良共同住宅整備促進事業 33戸 共同住宅供給戸数 118戸(300戸/5年間) 従業員用共同住宅支援事業 98戸(150戸/5年間) 新婚夫婦定住化支援事業 110人(600人/5年間) ・市職員が、県のふるさと福井移住定住促進機構(福井Uターンセンター)の移住定住支援員を併任し、移住希望の相談に対しワンストップで対応した(相談数7家族)。 ・市ホームページ「住もっさ!越前市」をリニューアルし、「働く」「住む(越前市おうちナビ)」「子育て・教育」「妊娠・赤ちゃん」の情報に加え、「働き方(モノづくり女子たち、越前WORK魂、Uターン就職ネット)」や「暮らし方」、「移住者への支援(越前市役所IJU課、メルマガIJUえちぜん)」などの情報を一括して閲覧できるよう情報のワンストップ化を実施した。</p>		

実践プログラム【主な事業計画】										
事業名	指標名	達成状況 (年度末見込み)								
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
活動指標等	景観まちづくり推進事業 〈再掲〉	街並み景観整備件数 〈再掲〉	9	9	6	4	1	1	—	—
	公園整備事業	都市計画区域人口1人当たりの都市公園供用面積	21.22	21.48	22.87	23.28	24.10	24.48	—	—
	公有地等購入支援事業 〈再掲〉	まちなか住宅用地および用途地域内(組合施行土地地区画整理事業の保留地等)の購入資金利子補給制度の新規交付件数〈再掲〉	8	13	7	9	1	4	—	—
	高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業	計画戸数に対する整備率(131戸)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—
	民間優良共同住宅整備促進事業〈再掲〉	整備件数/整備目標件数(113戸)	25	0	0	10	0	33	—	—
	第5次拡張事業(配水本管費)〈水道事業会計〉	送配水管事業費(実績見込額)/送配水管事業費(当初予定額)×100	58.6	67.2	69.7	72.2	75.1	77.0	—	—
	管渠築造事業(公共下水道+特定環境保全公共下水道)	面整備率(%)=整備済面積(ha)/全体計画面積(ha)×100	71.6	72.5	74.4	76.7	78.7	80.4	—	—
	浄化センター築造事業	放流水質(BOD)13mg/L以下の維持	3.0	3.7	4.6	4.0	3.4	4.0	—	—
浄化槽設置整備事業	浄化槽設置整備事業における浄化槽設置基数	113	124	143	97	103	129	—	—	
実践プログラム【数値目標】										
指標名	基準値	目標値	達成状況 (年度末見込み)							
	(時点)	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
汚水処理人口普及率(%)	66.1 (H18.4)	93.1	82.4	83.1	84.7	85.8	87.9	90.0	—	—
中心市街地への民間優良共同住宅、高齢者向け優良賃貸住宅、高齢者専用賃貸住宅の整備戸数(累計・戸)	0 (H18.4)	258	212	212	212	222	223	256	—	—
水洗化率(公共下水道)(%)	68.3 (H22.4)	86.0	75.5	76.9	78.7	80.2	83.5	84.7	—	—
総合戦略										
基本目標 柱	数値目標 K P I	内容	目標値	達成状況 (年度末見込み)						
			(H31)	H27	H28	H29	H30	H31		
基本目標 I	K P I	市内企業の新設又は増設による雇用増加者数に占める市内居住者割合(延べ)	60%以上	51.8	40.7	—	—	—		
基本目標IV	K P I	子どもの遊び場(大型遊具)整備数	3件/5年間	2	0	—	—	—		
基本目標 I	K P I	共同住宅供給戸数(延べ)	300戸/5年間	84	202	—	—	—		
基本目標 I	K P I	従業員用住宅整備戸数(延べ)	150戸/5年間	78	176	—	—	—		
基本目標 I	K P I	新婚夫婦家賃補助での市外からの転入者数(延べ)	600人/5年間	90	189	—	—	—		

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第3章 快適で住みよいまちづくり

第4節 快適な交通体系の整備

政策 達成度	3 (4)	【特記事項】 ※昨年度と評価が変更したもののみ記載。 ・公共交通について福武線利用者は順調に増えているが、バス利用者が減少傾向にある。 ・北陸新幹線については、35年春開業に向け概ね計画通りに進捗している。
施策名	目標・取組み概要及び結果・分析	
(1) 公共交通の整備	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①福武線については、関係団体等と連携して、各種イベントの開催や北府駅のイルミネーションの実施によるPR活動を行い、「乗る運動」を展開する。</p> <p>②バスについては、29年4月からの市民バスのルート・ダイヤ改正及び路線バスの鯖江市への延伸について関係機関と協議・調整を行う。</p>	<p>【結果及び分析】</p> <p>①福武線については、29年度に利用者を200万人とする目標の達成に向けて着実に増加しており、対前年比で102.1%となった。引き続き関係団体等と連携し「乗る運動」を展開する。</p> <p>②バスについては、路線バス（南越線）の鯖江市への延伸が実現した。利用者数は、市民バス利用者が運転免許自主返納者への無料乗車券交付の成果もあり、対前年比で101%となったものの、福祉バス利用者は減少傾向にあり、バス全体の利用者は対前年比で98.2%となった。29年4月からのルート・ダイヤ改正及び運転免許自主返納者に対するサービス拡充（無料利用期間を無期限に変更）により、新規利用者を含めた利用者の増加を目指す。</p>
(2) 北陸新幹線の整備促進	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①新幹線整備については、関係機関と協力して沿線集落の理解を得るための説明会を開催する。</p> <p>②南越駅周辺整備については、関係機関と南越駅（仮称）へのアクセス道路等に関する協議を行う。</p>	<p>【結果及び分析】</p> <p>①新幹線整備については、説明会等を81回開催した。ほとんどの町内で設計協議を終え、用地取得協議に着手し、事業認可面積に対する用地取得率は92.0%となった。35年春の開業に向け関係機関に協力し本線工事に着手できるようにする。</p> <p>②南越駅周辺整備については28年12月に概略基本設計を終えた。東西アクセス道路が県事業として29年3月28日に都市計画決定された。本線開業に合わせ整備できるよう、用地取得を実施する。</p>
(3) 駐車場の整備	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①市営駐車場については、市広報紙やホームページ等で月極め駐車場の募集を積極的に行い、より一層の利用促進を図る。武生中央公園再整備において駐車場台数の増量を図る。</p>	<p>【結果及び分析】</p> <p>①市営駐車場については、27年度とほぼ同様の利用があった。武生中央公園の市営球場跡地に駐車場を整備し供用開始した。中心市街地活性化と連携した取組みや利用者の利便性の向上と施設の利用促進を図る。30年の福井国体に合わせ武生中央公園内の駐車場の整備を行う。また、日野川河川緑地に利用者の利便性向上のため、駐車場を整備する。</p>
(4) 道路の整備と維持管理	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①交通ネットワークの強化を図るため都市計画道路河濯線を整備するとともに、生活に密着している市道の整備を行う。</p> <p>②道路法による定期点検検査に基づき、道路構造物（舗装・トンネル）の補修修繕を実施する。</p> <p>③市橋梁長寿命化計画に基づき、計画的な定期点検、修繕修繕を実施する。</p>	<p>【結果及び分析】</p> <p>①都市計画道路河濯線の用地取得に着手した。また、市道約3kmの整備を実施した。都市構造の骨格をなす都市計画道路河濯線の整備をすることにより、交通ネットワークの強化を図る。</p> <p>②譲葉隧道等トンネル2本の修繕工事を実施した。道路構造物の安全性が確保された。</p> <p>③下太田橋等橋梁53橋の点検及び紅葉田跨線橋等3橋の修繕工事を実施した。道路構造物の安全性が確保された。</p>
(5) 雪に強い道づくり	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①市民生活や産業活動に支障を来さないよう、気象情報を的確に収集し道路除雪を実施する。</p> <p>②市道路無雪化事業整備計画に基づき、計画的に消雪施設を整備する。</p> <p>③除雪協力業者の除雪車両の購入や更新に伴う市道路除排雪機械整備費補助を行う。</p>	<p>【結果及び成果の分析】</p> <p>①車道除雪業者106社歩道除雪業者18社にて、冬期間の通行確保及び産業道路の交通が確保された。</p> <p>②消雪施設1.83kmの整備を実施し冬期間の交通確保及び産業道路の交通が確保された。</p> <p>③除雪業者5社に対し除雪機械の整備費補助を実施した。除雪機械の保有台数を確保することにより、除雪体制の確保が図られた。</p>

実践プログラム【主な事業計画】											
事業名	指標名	達成状況 (年度末見込み)									
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30		
活動指標等	中心市街地駐車場整備事業	中心市街地駐車場整備率 整備箇所数/整備計画箇所数	66.0	66.0	66.0	66.0	66.0	66.0	66.0	—	—
	地方特定道路整備事業	整備率 (事業費換算)	58.89	65.23	—	(地方特定事業廃止)					
	単独道路整備事業	整備延長 (m)	(単独道路整備事業新規追加)		400	1,500	388	475	—	—	
	戸谷片屋線整備事業	整備済延長 (事業費換算) (m)	823	964	1,060	(事業完了)	—	—	—	—	
	補助道路整備事業	整備延長 (事業費換算) (k m)	0.74	1.56	2.56	1.14	0.83	0.22	—	—	
	雪寒地域道路整備事業	整備率 (市無雪化計画) 整備延長/整備計画延長	32.7	41.1	56.98	64	81	89	—	—	
	街路整備事業	整備済延長 (事業費換算)	550	580	(事業完了)	4	6	160	—	—	
	実践プログラム【数値目標】										
指標名	基準値 (時点)	目標値 H30	達成状況 (年度末見込み)								
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
成果指標	市民バス利用者数 (福祉バス含む) (再掲) (人)	85,760 (H18)	95,000	91,394	94,212	97,290	91,358	92,555	90,857	—	—
	福井鉄道福武線利用者数 (再掲) (人)	1,639,504 (H21)	2,000,000	1,758,736	1,778,348	1,901,681	1,934,550	1,983,679	2,025,816	—	—
	市道改良率 (%) (検討中) 市道改良延長	68.9 (H18.4)	71.6	70.6	70.9	70.9	71.0	71.0	71.1	—	—
	都市計画道路 (街路) 整備率 (%)	68.4 (H18.4)	74.8	73.8	74.2	74.3	74.3	74.3	74.5	—	—
	消雪施設整備路線延長 (k m)	41.3 (H18.4)	65.8	49.4	51.2	54.6	56.1	59.6	61.6	—	—
	市道歩道設置延長 (k m)	106.9 (H18.4)	119.4	112.5	113.9	114.4	114.8	118.8	118.8	—	—

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第3章 快適で住みよいまちづくり

第5節 環境にやさしいまちづくり

政策 達成度	3 (3)	【特記事項】 ※昨年度と評価が変更したもののみ記載。	
施策名		目標・取組み概要及び結果・分析	達成度
施策評価	(1) 持続可能な循環型社会の推進	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①ごみ減量化推進事業については、金属・電気製品類拠点回収の実施、ごみ減量化と食品ロス削減のための「おいしいえちぜん食べきり運動」、雑がみ回収運動の啓発、リサイクル推進員の育成及びゴミ分別の市政出前講座の実施などを通じて、さらなるごみ減量化とリサイクルの推進を図る。</p> <p>②地球温暖化防止対策事業については、住宅用太陽光発電設備・暮らしの省エネ設備及び電気自動車の普及に努める。</p> <p>③環境教育事業については、エコビレッジ交流センター主催の環境学習講座や保育園、幼稚園での環境学習会、CO2CO2（コソコソ）ダイエット・キッズ大作戦などを実施し、環境学習を推進する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①ごみ減量化推進事業については、金属・電気製品類拠点回収を定期的に10回実施し、金属類32.5t、電気製品類52.0tを回収して、確実なリサイクルを行った。また、ごみ分別等の研修を行いリサイクル推進員に新たに147名を認定、ごみ分別出前講座を19回実施するとともに、食品ロス削減のためおいしいえちぜん食べきり運動や雑がみ回収運動の啓発活動を実施し、ごみ減量化とリサイクルの推進を図った。</p> <p>金属・電気製品類拠点回収も2年目となり市民に定着し、リサイクルの適正な推進と市民サービス向上が図られた。今後も継続して実施し、市民ニーズに対応する中でごみ減量化とリサイクルを推進する。</p> <p>一人あたりのごみ排出量やリサイクル率は県内でも高水準であるが、その維持とさらなる向上のため、今後もリサイクル推進員の認定、おいしいえちぜん食べきり運動や雑がみ回収運動及び外国人へのごみ分別の啓発活動の強化を図り循環型社会の構築に努める。</p> <p>②地球温暖化防止対策事業については、家庭用太陽光発電設備の導入件数が28年度末1,240件（前年度末1,174件）であり、補助件数も51件となり普及の推進を行った。しかし、国の買取価格の低減や国・県の補助制度の終了を受け、伸び悩んでいる。電気自動車補助件数は51件となり、年間補助件数は2件であるが、一般開放型充電設備が28年度末で県内235箇所（前年度末167箇所）、うち越前市27箇所（前年度末23箇所）と民間によるインフラ整備が進められていること、電気自動車の低価格化が見込まれることから、今後の電気自動車普及が期待される。</p> <p>住宅用太陽光発電・暮らしの省エネ設備については、対象品目の見直しを行いながら電気自動車の補助制度とともに継続し、普及を推進する。</p> <p>③環境教育事業については、エコビレッジ交流センター主催の環境学習会に2,821人が参加し、全ての保育園や幼稚園で環境学習会を行った。また、家庭でのCO2削減の取組みとして、CO2CO2ダイエット・キッズ大作戦を全小学校の5年生を対象に実施し、665人（参加率78%）が参加した。</p> <p>コウノトリや希少生物などを守り育み、美しい里地里山を保全するための環境学習について、その拠点となるエコビレッジ交流センターの活動をさらに強化し、環境保全に対する啓発活動を推進する。</p>	3 (3)
	(2) 望ましい環境の保全・創造	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①生活環境保全対策事業については、大気観測や河川の水質調査、公害防止協定事業所排水の調査、地下水水質調査や、職員による環境パトロールを実施し、早期問題発見と未然防止に努める。</p> <p>②環境美化対策事業については、各地域で行われる河川一斉清掃や雪解けクリーン作戦での支援の他、不法投棄監視パトロールに加え、監視カメラや不法投棄防止看板の設置により、不法投棄の抑制と早期発見に努める。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①生活環境保全対策事業については、大気観測や主要河川の水質調査等によるデータは概ね環境基準に適合していた。公害防止協定事業所については、34事業所で38回の立ち入り調査を実施し、協定不適合による指導は19%の7回あった。不適合の内容は水質のSS（浮遊物質の濃度）などの一般項目であり、健康項目に触れる有害物質検出による不適合は無かった。</p> <p>地下水水質調査結果では、年々改善する結果となってきた。</p> <p>概ね、良好な環境が保全されているが、排水の不適合等事業所も存在するため、引き続き監視と立ち入り調査等を継続し生活環境の保全に努める。</p> <p>②環境美化対策事業については、監視カメラの導入により設置場所の不法投棄が減少した。また、監視パトロールにより、早期発見が図られた。しかし、不法投棄の根絶に向け、今後も継続して監視パトロールによる情報収集を行い、状況に応じて監視カメラの設置により対応していく必要がある。</p> <p>また、丹南地域廃棄物等不法処理防止連絡協議会を通じて県と合同パトロールを行ったり警察へ情報提供するなど、各関係機関と情報を共有し連携強化を図ることにより、さらに監視体制を充実させる。</p>	3 (4)

実践プログラム【主な事業計画】											
事業名	指標名	達成状況 (年度末見込み)									
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30		
活動指標等	ごみ減量化推進事業	古紙類集団回収量 (t)	3,272	3,200	3,008	2,930	2,541	2,115	—	—	
		金属・電気製品類拠点回収量 (t)	—	—	—	—	93	85	—	—	
	地球温暖化防止対策事業	住宅太陽光発電システム導入補助件数	147	128	115	61	57	51	—	—	
	南越清掃組合事業 (ごみ収集処理業務)	ごみの年間排出量 (t)	23,690	24,432	24,456	24,694	24,776	24,737	—	—	
実践プログラム【数値目標】											
指標名	基準値	目標値	達成状況 (年度末見込み)								
	(時点)	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28 (見込み)	H29	H30	
成果指標	ごみのリサイクル率 (県下9市のごみリサイクル率の順位) (位)	2 (H26)	1	—	—	—	2	2	H30年3月公表	—	—
	家庭系ごみ排出量 (市民1人1日当たりのごみ排出量) (g/1日/1人)	552 (H26)	552	538	547	544	552	543	(543)	—	—
	家庭系ごみ排出量 (県下9市の家庭系ごみ排出量の順位) (位)	1 (H26)	1	1	1	1	1	1	H30年3月公表	—	—
	エコビレッジ主催環境学習会参加人数 (人)	2,806 (H27)	3,500	—	—	—	3,625	2,806	2,821	—	—
	太陽光発電設備導入件数 (累計) (件)	1174 (H27)	1,400	—	—	—	1,078	1,174	1,240	—	—
	電気自動車補助件数 (累計) (件)	49 (H27)	98	8	9	31	44	49	51	—	—
	里山の森林づくりボランティア参加人数 (人) ※H27年度基準値変更	341 (H27)	375	185	201	200	127	341	414	—	—

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第4章 安全で安心なまちづくり
第1節 地域が支える防災体制の充実

政策 達成度		4 (4)	【特記事項】※昨年度と評価が変更したもののみ記載。								
施策評価	施策名	目標・取組み概要及び結果・分析								達成度	
	(1) 地域防災力の充実	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①自主防災組織リーダー研修会や市政出前講座等の継続的な開催により、住民の防災意識の向上を図る。</p> <p>②避難マニュアル・防災マップについては、未作成町内への支援を行い、全町内での作成を目指す。</p> <p>③市防災士育成事業については、防災士の資格取得経費補助を行い支援するとともに、地域で活躍する防災コーディネーターを養成する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①自主防災組織リーダー育成研修会を開催して地震時の安否確認の方法について図上訓練を行い、災害発生時の行動を確認した（参加者423人）。また、市政出前講座を31回開催し防災知識の普及に努め防災体制の充実を図った。</p> <p>②避難マニュアル・防災マップ未作成町内に対する支援を継続的に実施した結果、3町内が完成し245町内が作成済みとなった（作成率94.5%）。引き続き未作成町内（14町）への支援を進めていくとともに、既に作成済みの町内に対する更新の支援も行っていく。</p> <p>③市防災士育成事業では、市が助成した19人の防災士が誕生し、市防災士の会員数は123人となった。また、市総合防災訓練や地区防災訓練等に参画して講演や指導を行うなど、地域において活躍した。</p>								4 (4)	
(2) 危機管理体制の充実	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①住民避難訓練や救出救助訓練など市総合防災訓練を実施し、防災体制の充実・強化を図る。</p> <p>②防災行政無線のデジタル化について、電波伝搬調査を実施し詳細設計書を作成する。</p> <p>③熊本地震で明らかとなった課題への対応を検証し、地域防災力の一層の強化を図る。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①災害対策本部運営訓練及び広域避難所開設訓練を実施し職員の災害時対応力強化を図った（170人参加）。また、大規模地震を想定した住民避難訓練及び救出・救助訓練、地震体験等を実施した（西地区住民等約750人参加）。これらにより、職員の本部運営能力の向上を図ることができた。</p> <p>②防災行政無線デジタル化については、電波伝搬調査結果に基づき不感地帯解消など諸課題の検討を行った。</p> <p>③熊本地震で明らかとなった課題への対応を検証するため、熊本地震検証会議をこれまでに5回開催し、短期・中期の対応方針や進捗を確認するなど災害対応の強化を図った。</p>								4 (4)		
活動指標等	実践プログラム【主な事業計画】										
	事業名	指標名	達成状況（年度末見込み）								
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
	地域防災対策事業	町内ごとの防災マップ、避難マニュアルづくり	34	117	130	177	242	245	—	—	
	防災行政無線管理事業	デジタル無線機の導入	—	80	80	81	81	82	—	—	
	木造住宅耐震診断促進事業	診断件数（延件数）	148	168	186	193	205	218	—	—	
木造住宅耐震改修促進事業	改修件数（延件数）	27	31	38	41	46	47	—	—		
	コミュニティ会館耐震化促進事業	耐震診断件数	—	8	4	3	3	1	—	—	
成果指標	実践プログラム【数値目標】										
	指標名	基準値 (時点)	目標値 H30	達成状況（年度末見込み）							
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
	自主防災組織リーダー育成研修会参加者数（累計）（人）	0 (H17)	5,000	2,040	2,440	2,873	3,305	3,753	4,176	—	—
	防災訓練の実施地区数（地区）	10 (H18)	17	17	17	17	17	17	17	—	—

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第4章 安全で安心なまちづくり
第2節 郷土を守る治山・治水対策の充実

政策 達成度		4 (4)	【特記事項】※昨年度と評価が変更したもののみ記載。								
施策 評価	施策名	目標・取組み概要及び結果・分析								達成度	
	(1) 郷土を守る治山・治水 対策の充実	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①吉野瀬川沿線住民の安心安全を図るため、吉野瀬川ダム建設と河川改修事業の促進を図る。 ②山地災害の未然防止や情報収集を図るため、県と連携して山林保全監視モニターを依頼する。 ③県営治山事業（治山ダム）は、県と連携し事業推進を図る。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①28年度に尼寺川放水路が完成した。また、吉野瀬川改修で分水堰工事が完成し、放水路への流下が可能になり治水対策の安全度が高められた。引き続き県と連携し、ダム事業の促進及び付替え県道の整備を図る。 ②山林の地籍を有する町内の代表者（区長）に、山林保全監視モニターを依頼し、山崩れや危険箇所等の情報収集を行った。 ③28年度の県営治山事業は、3か所（余川・大滝2か所）が完成した。</p>								4 (4)	
活動 指標 等	実践プログラム【主な事業計画】										
	事業名	指標名	達成状況（年度末見込み）							H29	H30
			H23	H24	H25	H26	H27	H28			
	吉野瀬川ダム建設関連 事業	進捗率（県事業費に係る 当該年度までの事業費／総 事業費）	53.6	55.0	57.5	59.2	60.2	62.3	—	—	
吉野瀬川河川改修事業	進捗率（県事業費に係る 当該年度までの事業費／総 事業費）	47.5	53.7	63.9	66.9	72.8	77.2	—	—		
土砂災害防止事業	砂防指定箇所数	0	0	0	0	0	0	—	—		
成果 指標	実践プログラム【数値目標】										
	指標名	基準値	目標値	達成状況（年度末見込み）							
		(時点)	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
河川整備延長（小規模） (m)	0 (H18)	3,200	1,701	1,892	2,314	2,562	2,844	2,948	—	—	

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第4章 安全で安心なまちづくり
第3節 地域ぐるみの防犯対策の充実

政策 達成度		4 (4)	【特記事項】※昨年度と評価が変更したもののみ記載。							
施策評価	施策名	目標・取組み概要及び結果・分析								達成度
	(1) 子どもの安全・安心の確保	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①警察署や自治振興会、PTAなどと連携し、子ども見守り活動を推進する。</p> <p>②通学路用防犯灯の維持管理を行い、防犯環境の整備に努める。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①登下校時における子どもの見守り活動等を実施した結果、未成年者が被害に遭った犯罪件数は「声かけ」が1件、「公然わいせつ」が2件で、子ども・女性に対する犯罪の総件数は昨年より1件減少した。また関係機関や団体と連携し地域全体で見守る環境づくりに努めた。</p> <p>②通学路用防犯灯3箇所の修繕を行い、防犯環境の維持管理を図った。また、通学路用防犯灯1,152基の維持管理を行い、防犯環境が悪化しないよう努めた。</p>								4 (4)
(2) 地域防犯活動の推進	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①市防犯隊と警察署、自治振興会をはじめとする地域の防犯関係団体と協力連携し、社会全体の防犯意識を高めて犯罪抑止を図る。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①防犯パトロールの強化、振り込め詐欺等に対する街頭での呼びかけなど防犯対策の広報活動を実施し防犯意識の高揚に努めたことにより、刑法犯認知件数は330件で27年より7件減少し、人口1,000人当たりの犯罪発生率も3.98件で0.03件減少した</p> <p>市防犯隊による子どもや女性が被害に遭いやすい場所の安全点検を実施した(68回)。</p>								4 (4)	
活動指標等	実践プログラム【主な事業計画】									
	事業名	指標名	達成状況 (年度末見込み)							
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
防犯対策事業	防犯隊年間出動回数	650	430	410	802	759	750			
	防犯隊年間出動人員数	2,491	2,377	2,443	2,580	2,622	2,650	-	-	
成果指標	実践プログラム【数値目標】									
	指標名	基準値	目標値	達成状況 (年度末見込み)						
		(時点)	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
自主防犯パトロール車(青色回転灯装備車)の2台以上の保有地区数(地区)	12(H23)	17	12	12	13	14	14	14	-	-
刑法犯認知件数(件)	450(H23)	400	450	430	485	485	337	330	-	-

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第4章 安全で安心なまちづくり

第4節 消防・救急体制の充実

政策 達成度	3 (4)	【特記事項】※昨年度と評価が変更したもののみ記載。 事業活動・数値目標は達成したと考えているが、先般の蓬萊町火災の検証を踏まえ、次年度は消防体制の充実を更に推進する必要があるとの認識の下、本年度の達成度については3とした。								
施策評価	<p>施策名</p> <p>(1) 消防・救急体制の充実</p>	<p>目標・取組み概要及び結果・分析</p> <p>【目標・取組み概要】</p> <p>①消防力の充実強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防ポンプ自動車等の計画的な更新、水利不便箇所防火水槽の設置。 熊本地震を教訓とした現場活動用資器材の整備。 消防団車両の計画的な更新、各分団への各種災害対応資器材の整備、団員への処遇改善。 消防救急無線デジタル化及び高機能消防指令センターのデジタル化への対応工事（26～28年度）の完成。 <p>②救急救助体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の養成とともに、救急隊員の施術の向上のため計画的な各種訓練の実施。 <p>③応急手当の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> バイスタンダー（傷病者発生時にその場に居合わせた人）による救命率向上を目指して救急講習会の開催。 少年少女期から命の大切さや応急手当の重要性を根付かせる取組みを市教育振興課と連携して実施。 <p>④市民の防火意識の高揚、火災予防対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民を対象にした防火講習会や防火訪問の実施、住宅用火災警報器の設置と適切な維持管理の周知徹底。 屋外イベント会場等における火気取扱い等、火災予防対策の周知徹底。 <p>【結果及び分析】</p> <p>①・常備消防車両は配置後20年経過の消防ポンプ自動車、化学消防自動車各1両を更新し消防力を強化した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 越前市春日野町と市野々町にそれぞれ40トンの防火水槽を設置し、水利不便箇所に対策を講じた。 現場活動用資器材整備ではエンジンカッター替刃、チェーンソー/替刃、コンクリート破壊器具を整備した。 消防団車両は、配置後20年経過の消防ポンプ自動車2両を全自動消防ポンプ積載車に切替えて配備した。 消防団員の年報酬及び出勤報酬を28年4月1日より引き上げて、処遇改善を実施した。 全消防団員に耐切創手袋、ヘッドランプ、救助用半長靴を配備し、消防団員の安全向上を図った。 消防救急無線及び高機能消防指令センターのデジタル化により、迅速な初動対応と確実な連絡通信体制が確保され、迅速確実な消防活動が可能となった。 蓬萊町火災、糸魚川火災を検証し、延焼危険の高い地域・強風時の出動体制を見直して消防隊を増強した。 <p>②・年間2人の救命士養成を行う一方、医師の検証を受けての救急練成会を開催し、救急技術向上に努めた。</p> <p>③・年間886人に普通救命講習を行い、バイスタンダーの育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内小学校高学年856人(主に5年生)を対象に、授業の一環で「命の教室」として救急講習を実施した。 <p>④・防火講習会開催は586件で目標を上回り、立入検査件数も増加しており、屋外イベント等の火災予防及び地域の実情に適応した火災予防対策を推進した。</p>								
	3 (4)									
活動指標等	実践プログラム【主な事業計画】									
	事業名	指標名	達成状況 (年度末見込み)							
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
火災予防対策推進事業	立入検査等件数 (防火対象物立入検査、危険物施設立入検査、一般家庭防火診断)	1,544	2,269	3,091	2,631	2,739	3,253	—	—	
火災予防対策推進事業	住宅用火災警報器の設置率 設置世帯数/調査済世帯数 (空き家、不在世帯を除く)	89.40	91.40	92.50	92.70	92.70	92.80	—	—	
成果指標	実践プログラム【数値目標】									
	指標名	基準値 (時点)	目標値 H30	達成状況 (年度末見込み)						
				H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
普通救命講習会の修了者数(延べ数)	837 (H19)	10,900	4,608	5,587	6,289	7,647 (1,358)	8,643 (996)	9,529 (886)	—	—
防火講習会等の開催(回/年間)	278 (H17)	540	624	667	580	594	547	586	—	—

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第4章 安全で安心なまちづくり

第5節 暮らしの安全の向上

政策 達成度		3 (4)	【特記事項】※昨年度と評価が変更したもののみ記載。 消費者講座等への参加者数が大幅に減少した。また、高齢者を中心に交通死亡事故が増加した。今後さらにPRや啓発活動等による被害の予防が必要である。								
施策評価	施策名	目標・取組み概要及び結果・分析								達成度	
	(1) 消費者行政の充実	<p>【目標・取組み概要】 ①消費者相談業務の充実、及び悪質商法による被害防止のための啓発とあっせんによる被害回復を図る。</p> <p>【結果及び分析】 ①年間の消費者相談件数が対前年度比 10%減少したが、被害に遭っても誰にも相談しないいわゆる潜在的被害が高齢者や若者に増加している傾向にある。 消費者出前講座実施回数と参加者数が26年度をピークに減少傾向にあるのは、市民が講座項目で真新しさを感じなくなったことに一因があるので、最新の消費者トラブルを知ることが被害抑止になることを周知し、講座への関心を高める必要がある。 企業の従業員や大学生など若者向け消費者教育の拡充を図る。</p>								3 (4)	
	(2) 交通安全の推進	<p>【目標・取組み概要】 ①通学路の安全確保を実施するとともに、自転車利用者への交通ルール・マナーの周知徹底を図る。 ②国・県の交通安全基本計画の改定に併せ、本市の第10次交通安全計画を改定する。</p> <p>【結果及び分析】 ①通学路危険個所にグリーンベルトを5箇所設置し安全確保を図るとともに、中・高校において通学用自転車の安全点検を実施し、交通ルール・マナーの周知を図った。 市交通指導員等関係団体による街頭指導や啓発活動により、人身事故件数が130件(71件減)・負傷者数151人(73人減)となり、いずれも昨年より減少したが、交通死亡事故は高齢者を中心に2人増加したため高齢者の交通安全対策の強化が必要である。 ②国・県の交通安全基本計画の改定に併せ、28年7月に市交通安全基本計画の第10次改定を行った。</p>								3 (4)	
	(3) 生活関連施設の充実	<p>【目標・取組み概要】 ①斎場、霊苑の計画的改修を行うことにより、施設の長寿命化と快適性の保持を図る。 ②利便性向上のため、火葬時間の変更を実施する。</p> <p>【結果及び分析】 ①長期計画に基づき、斎場の火葬炉改修、霊園内の通路舗装改修等の工事を実施し施設の快適な利用と適正な維持管理に努めた。 ②火葬時間指定予約を29年4月1日よりスタートさせる準備を整えるなど様々な工夫に努め、市民の利便性向上を目指した。</p>								4 (4)	
	(4) 水資源の確保	<p>【目標・取組み概要】 ①3市2町で構成する日野川水資源保全活用連絡協議会において、秋に榑谷ダム等施設見学会を実施し、環境保全と小水力発電等への水資源の有効活用について、引き続き普及啓発を図る。</p> <p>【結果及び分析】 ①日野川水資源保全活用連絡協議会において、榑谷ダムや27年6月に発電を開始した日野川用水発電所等の施設見学会を10月29日に実施し、生活や産業に必要な水の確保や、日野川用水の未利用エネルギーの有効利用等について参加者の理解が得られた(75人参加)。</p>								3 (3)	
活動指標等	実践プログラム【主な事業計画】										
	事業名	指標名	達成状況 (年度末見込み)								
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
	消費者対策事業	年間消費者相談件数	1,256	1,063	1,096	1,123	896	800	—	—	
	消費者対策事業	消費者講座等の実施回数	97	89	104	128	123	110	—	—	
交通安全施設整備事業	市内の交通事故発生件数	275	270	238	218	201	130	—	—		
水資源利用推進事業	日野川水資源活用による小水力発電能力(kw/年)	0	0	0	1,000,000	1,000,000	1,000,000	—	—		
成果指標	実践プログラム【数値目標】										
	指標名	基準値	目標値	達成状況 (年度末見込み)							
		(時点)	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	交通事故(人身事故)発生件数(件)	472(H17)	190	275	270	235	218	201	130	—	—
消費者講座等の参加者数(人)	940(H18)	3,500	2,679	2,500	3,254	3,375	3,537	2,116	—	—	

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第5章 市民が主役のまちづくり

第1節 市民自治の推進

政策 達成度		4 (4)	【特記事項】※昨年度と評価が変更したもののみ記載。									
施策評価	施策名	目標・取組み概要及び結果・分析									達成度	
	(1) 市民参画・協働の推進	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①市民活動団体を支援している「NPO（のっぽ）えちぜん」のフェイスブックを活用して、市民活動団体が行うイベント等の情報を発信するとともに、市民活動団体との連携強化を図り、組織強化に繋げる。</p> <p>②地域貢献活動支援補助金を活用して、学生団体の活動を支援する。</p> <p>③自治振興会、市民活動団体、学生団体の交流を図り、事業の連携や拡大を図る。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①市民活動団体を支援している「NPO（のっぽ）えちぜん」のフェイスブックを活用し、研修会やイベントについての情報を発信し参加者の増加に努めた（主催講座4事業、共催事業7事業が対象）。</p> <p>②学生団体への地域貢献活動支援は、岐阜大学、仁愛大学、武生工業高校、武生商業高校から申請があり10の企画事業が採択され補助を行った。野鳥の糞害解消となる研究をはじめ、地元食材を活かしたオリジナル食品の開発、スポーツと食育面からのサポート、まちなか音楽パレード、親子ロボット製作と体験教室、若者向け情報発信など、学生視点からのユニークな企画が実施され、地域貢献活動支援補助金の活用が図られた。</p> <p>③3月に実施した補助金の公開審査会・報告会の後に事業実施団体である自治振興会、市民活動団体、学生団体との間で年代、分野を超えた交流の場「しゃべろっさ（仮）」を設け、自治振興会、市民活動団体、学生団体など年代、分野を超えた幅広い団体間での一層の連携促進に繋げた（参加団体21団体、参加人数180人）。</p>									4 (4)	
	(2) 地域コミュニティの充実	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①県・市補助制度を活用し、コミュニティの活動拠点となる町内集会所の整備を支援する。</p> <p>②空き家・空き店舗等活用コミュニティ推進事業の市民活動拠点施設開設を支援する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①これまで、耐震補強及び大規模修繕の補助については、市単独で350万円の補助制度で支援してきたが、28年度からは県補助を活用し、計400万円となるよう補助制度を拡充したことで、町内集会所の整備支援制度の充実が図られた。</p> <p>②空き家・空き店舗等活用コミュニティ推進事業補助の活用促進を図るため、補助要件の緩和や家賃補助の追加を行ったことで、1団体からの申請（補助額100万円）があり、市民活動拠点施設の新たな開設に繋がった。</p>									4 (4)	
	(3) 自らの地域づくり	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①28年～30年度の「地域自治振興計画」をより地域住民のニーズを反映したものとするための支援を行い、各地区の自治力を高める。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①17地区自治振興会で改定された「地域自治振興計画」に基づき、各地区が計画どおり事業を実施できるよう地域支援職員による支援を行った。</p>									4 (4)	
成果指標	実践プログラム【数値目標】											
	指標名	基準値	目標値								達成状況（年度末見込み）	
		(時点)	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
	NPOの法人数（団体）	17 (H18)	25	20	20	—	—	—	—	—	—	
NPO交流事業への参加者数（人）	4,579 (H25)	7,000	—	—	4,579	5,978	6,517	6,720	—	—		
自治振興会事業への参加者総数（人）	106,000 (H18)	180,000	167,467	176,000	176,117	177,246	180,396	180,803	—	—		

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第5章 市民が主役のまちづくり

第2節 市民交流の推進

政策 達成度		3 (3)	【特記事項】※昨年度と評価が変更したものののみ記載。								
施策評価	施策名	目標・取組み概要及び結果・分析								達成度	
	(1) 市民交流の推進	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①外国人市民生活支援事業を活用し、地域活動における翻訳サービスの提供など外国人市民に対する生活支援を行う。</p> <p>②市民交流促進を図るため、市友好都市推進協議会加盟団体向けの「親善事業に係わる助成金」活用要件を緩和した。</p> <p>③外国人市民の異動事務については、入国管理局と連携し正確かつ迅速に住基システムに反映する。相談業務については、外国人市民の増加、定住永住化及びマイナンバー制度の開始に伴い件数も年々増え続け内容も多様化してきていることから、できるだけきめ細やかな対応を行う。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①ゴミ分別などの注意喚起のほか、納涼祭などの町内行事や地域へのイベント等に外国人が参加しやすいように町内会のちらしの翻訳サービスを提供し支援した。</p> <p>②28年度の「親善事業に係わる助成金」利用は4団体4件から4団体5件に増加した。今後も、市民交流の促進を図る取組みを進めて行く必要がある。</p> <p>③外国人市民の異動事務については、入国管理局と連携し正確かつ迅速に住基システムに反映できた。マイナンバー制度については多くの相談があり、外国人市民のカード申請率は現在約12%と比較的良好な結果であった。なお市民課における相談件数の減少については、教育、児童福祉及び税関係部署にポルトガル語通訳が配置されたことにより分散化されたものと思われる。</p>								3 (3)	
活動指標等	実践プログラム【主な事業計画】										
	事業名	指標名	達成状況 (年度末見込み)								
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
外国人市民相談事業	外国人市民からの相談件数	5,262	5,040	5,620	6,570	6,984	4,500	-	-		
成果指標	実践プログラム【数値目標】										
	指標名	基準値	目標値	達成状況 (年度末見込み)							
		(時点)	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
国際交流事業への参加者数(人)	2,400(H17)	6,800	3,700	3,801	4,802	5,770	6,880	6,074	-	-	

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第5章 市民が主役のまちづくり
第3節 人権尊重と男女共同参画社会の実現

政策 達成度		3 (3)	【特記事項】※昨年度と評価が変更したものののみ記載。							
施策評価	施策名	目標・取組み概要及び結果・分析								達成度
	(1) 人権の尊重	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①人権尊重については、学校や関係機関と連携を図り、意識の啓発を図るとともに、相談などの対応の充実に努める。</p> <p>②犯罪被害者支援の大切さについて広報活動や啓発に努める。</p> <p>③拉致・特定失踪者問題の早期解決に向けて積極的な啓発活動を行う。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①人権擁護委員協議会による特設人権相談を毎月第3金曜日に開催するとともに、10月には、菊人形会場で人権相談窓口及び啓発キャンペーンを実施した。</p> <p>また、武生西小学校と北新庄小学校で人権の花運動(人権教室)を実施し、花を育てることを通じて子どもたちに命の大切さ、相手を思いやるという人権の尊重について啓発し、新聞にも活動が取り上げられ人権意識の普及に繋がった。人権の花運動で育てた花を生徒自らが近くの介護施設等に配布するなど人権の輪を広げた。</p> <p>11月には人権擁護委員協議会とともに人権啓発講演会を実施した。</p> <p>②犯罪被害者の支援については、7月に支援の連携強化を目的に市内連絡会を開催したほか、市広報紙・パンフレット等による啓発のほか、市民から寄贈いただいた本の売上代金を犯罪被害者に寄付する、いわゆるホンデリング(本で広がる支援の輪)支援活動を3回実施した。ホンデリングの広報紙への周知により市民からの本の提供が増加し犯罪被害者支援に繋がった。</p> <p>③拉致・特定失踪者問題については、菊人形会場などで署名・啓発活動を実施し、市民への周知、理解を深めた。</p>								3 (4)
活動指標等	(2) 男女共同参画社会の促進	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①第2次市男女共同参画プランを策定する。</p> <p>②男女共同参画推進会議では、自治連合会や男女共同参画推進会議委員と連携し、先進地域の取組み事例の紹介や情報交換等を行い、男女共同参画を推進する。</p> <p>③企業の男女共同参画推進は、オンブッドの事業所訪問による啓発活動を継続する。</p> <p>④男女共同参画センター行事等への参加者を増やす。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①第2次市男女共同参画プランについては、第1次プランの事業検証と市民意識調査をもとに、男女共同参画審議会(会議6回)で協議を重ね、市長へ答申し、3月に今後10年間の更なる推進方針を示した計画を策定した。</p> <p>②男女共同参画推進会議の各委員が選出団体と連携を取りながら「ひとり1事業」を実施した。</p> <p>③オンブッドの事業所訪問を20箇所実施し、事業所における女性の役職登用、ワークライフバランスを啓発した。</p> <p>④講演会講師の工夫により若い人の参加増へ繋がった。また、各世代に向け絵本や男性向けの育児書、話題の小説等の図書を購入するなど充実に努めたことで貸出数が伸び、センターへの来場者が増えた。</p>								4 (3)
	実践プログラム【主な事業計画】									
活動指標等	事業名	指標名	達成状況 (年度末見込み)							
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	男女共同参画推進事業	講座等参加者延数	4,959	4,200	4,062	4,154	4,093	4,600	-	-
成果指標	実践プログラム【数値目標】									
	指標名	基準値	目標値	達成状況 (年度末見込み)						
		(時点)	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
附属機関等への女性登用率(%)	27.5% (H17)	37.0	31.5	33.0	32.7	-	-	-	-	-
女性の登用率37%を達成した附属機関等の割合(%)	38.1% (H25)	45.0	-	-	-	38.6	35.7	43.6	-	-

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第5章 市民が主役のまちづくり

第4節 情報の共有化の推進

政策 達成度		4 (4)	【特記事項】※昨年度と評価が変更したもののみ記載。							
施策評価	施策名	目標・取組み概要及び結果・分析							達成度	
	(1) 広報、広聴の充実	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①市政情報や身近な地域情報を分かりやすくタイムリーに提供し、新聞、テレビなど各種メディアを使い市政を市内外にPRする。</p> <p>②市政への理解促進を図るとともに、市民や各種団体などの意見・提案などを市政やまちづくりに反映する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①広報事業（市広報紙）については、読者アンケートを参考にしながら、より読みやすい文字の大きさや色などを改善した。また、大きく活躍した人を取り上げた特集紙を発行し、広く知っていただけるよう工夫した。広報事業（HP・SNS）については、ホームページでの「課トピックス」（発信数：1,730件）と市公式フェイスブック「いいね！越前」（発信数：699件）で積極的な情報発信に努めた結果、ホームページでの閲覧数が増加した。</p> <p>広報紙では、読者アンケートで好評を得ている。今後は、幅広い世代に親しまれる広報紙となるよう目指していく。</p> <p>②広聴事業については、市政の重要施策などを伝えるため、市政ミーティング（2回、202人）、地域ミーティング（8回、344人）および団体ミーティング（4回、124人）を開催し、意見交換を行った。</p> <p>また、29年度から本格実施する「介護予防・日常生活支援総合事業」に対する地区の理解や、30年度に開催される福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会の機運を盛り上げることを目的に、29年度地域ミーティングを29年3月に前倒して実施した（6回 564人）。</p>							4 (4)	
	(2) 情報公開・提供の充実	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①情報公開の請求に対し、迅速に対応する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①情報公開については、公文書の開示請求は38件であった。情報公開制度の適正な運用および迅速な対応に努めた結果、異議申立などはなかった。</p>							4 (4)	
(3) 情報通信基盤の整備	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①公衆無線LANの利用可能場所41箇所については、統一したロゴ(FreeSpot)を設定し、掲示物に英語の標記を行い周知する。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①公衆無線LANの利用可能場所の掲示物に英語の標記を行った。なお、訪日外国人のコミュニケーションについては、29年1月にgoogle社のリアルタイムカメラ翻訳機能が日本でも提供が開始され問題が解消される環境が整いつつある。これらは、技術動向を注視しながら取組みを進める必要がある。</p> <p>本年度の公衆無線LAN(24、25年度設置29箇所)の年間アクセス数は約21万6千件あった。</p> <p>29年度は、急速に普及が進むスマートフォンを利用した情報発信として、地域のイベント情報や公園などのおでかけスポット、おでかけの際気になる授乳室やおむつ替えのできる施設、医療機関等が、現在地や事前登録した地点からの最寄りの場所として分かるように、子育て総合支援サイト「どんとこい！越前市」を構築し、市の観光情報や防災情報などを、位置情報を利用して最寄りの場所に誘導できる仕組みを、順次提供していく。</p>							4 (4)		
活動指標等	実践プログラム【主な事業計画】									
	事業名	指標名	達成状況 (年度末見込み)							
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
広報発行事業	市広報紙の配布率 (%) 配布部数/世帯数	93.0	92.9	93.8	93.0	92.9	93.1	-	-	
行政情報番組制作放送事業	映像・文字等情報番組放送数 (丹南ケーブル、たんなんFM)	129	130	130	130	103	103	-	-	
成果指標	実践プログラム【数値目標】									
	指標名	基準値 (時点)	目標値 H30	達成状況 (年度末見込み)						
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
市ホームページアクセス件数 (件/月)	101,000 (H23)	138,000	101,000	106,000	118,000	128,000	166,000	263,000	-	-

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第6章 地方分権に対応した行財政運営

第1節 自立した行財政運営の確立

政策 達成度		4 (3)	【特記事項】※昨年度と評価が変更したもののみ記載。 ・ふるさと納税について、お礼品の拡充やクラウドファンディング導入等により大幅増となった。								
施策名	目標・取組み概要及び結果・分析		達成度								
	(1) 計画的・効率的な行政運営	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①市行財政構造改革プログラムⅣを策定する。 ②ふるさと納税について寄附件数の増加を図るため、ふるさと納税サイトをリニューアルする。県外・市外の越前市に縁が無かった層からの寄附の獲得を目指し、お礼品を拡充する。 ③限られた職員数で今後の行政需要に対応できる組織を目指し、人材育成方針に基づき、職務の公務能力率の向上、能力開発、並びに有為な人材の確保に努める。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①3回にわたって行財政構造改革推進委員会を開催し、民間の改善手法も取り入れた市行財政構造改革プログラムⅣ【Change & Challenge】を策定した。今後は具体的取組み内容と目標を明記した個票により毎年度進捗管理し、その結果を年に2回行財政構造改革推進委員会に報告する。 ②ふるさと納税について11月にリニューアルを実施した。内容としては、株式会社JTB中部へ業務を委託し、返礼品や寄附受付方法の拡充、ポイント制の導入を行った。その結果、寄附額は4,433万円となり、昨年度比約3.7倍となった。クラウドファンディング形式でのふるさと納税にも取り組み、第1弾としてかこさとし氏寄贈絵画の壁画化に対し募集を募った。さらに返礼品について市民提案制度を創設した。 ③職員の採用については、大量退職のピークを迎えている中、年齢構成の平準化に留意しつつ、求める人材を明確にして年4回の採用試験を実施した。特にD日程においては、大阪市で試験(7人受験)を行うほか、2月には次年度採用に向けて京都市で説明会(18人出席)を開催した。また、就職情報サイトによる情報の発信のほか、関西地区の主要大学の就職支援窓口へ出向き、情報収集や周知を行った。その結果、計370人が受験し28人の採用となった。 職員研修について、民間専門企業への派遣研修や自己啓発・自己実践型の研修を拡充した。</p>	4 (4)								
(2) 健全で効率的な財政運営	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①市行財政構造改革プログラムⅢ「実行計画」の進捗管理を行い、財政基盤の強化を図る。 ②個人住民税に係る特別徴収(給与天引き)の推進や口座振替の普及促進に向けた取組みを継続するとともに、市民福祉部との連携等による徴収体制の強化や滞納処分強化を図ることにより、市税等の収納率向上、自主財源の確保に努める。 ③課税面では、適正な課税客体の把握に努める。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①法人市民税で大幅な減収が見込まれていたため、その減収分を補うために減収補てん債などを追加計上した。建設事業の推進にあたっては、交付税措置のある市債や基金を充当し、一方で、財政調整基金や社会基盤整備基金に積み立てを行った。引き続き、国県の補助制度の活用や優良な起債の活用を図るとともに、財政調整基金や社会基盤整備基金などへの積み立てを確実にし、財政基盤を強化し、健全で安定した財政運営を行っていく。 ②27年度と比較し、市税の収納率は現年度分はほぼ横ばい、滞納繰越分はやや下落、全体としてはほぼ前年度同様となった。滞納繰越分については、大口滞納解消が進まないのが大きな原因。個人住民税に係る特別徴収(給与天引き)の県内一斉指定を実施し、従業員3人以上の事業者に対し積極的な制度周知を行った。 ③法人税率の引下げや外国為替の影響により、法人市民税の減収が見られた。</p>	3 (3)									
実践プログラム【主な事業計画】											
活動指標等	事業名	指標名	達成状況 (年度末見込み)								
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
	財政調整基金積立事業 単位千円	年度末残高：標準財政規模 の5% (9億円)以上	3,239,315	3,082,555	3,086,927	3,091,249	3,096,195	2,705,572	-	-	
	将来負担比率	300%以下(350%)	107.4	90.9	89.5	83.9	87.9	89.7	-	-	
	実質赤字比率【実質収 支比率】	0%以下(12.5%)	-	-	-	-	-	-	-	-	
	連結実質赤字比率	0%以下(17.5%)	-	-	-	-	-	-	-	-	
ふるさと納税	ふるさと納税寄附金額	5,389,000	6,682,600	13,187,600	8,512,500	12,081,288	44,334,233	-	-		
()は、国が示す早期健全化基準											
実践プログラム【数値目標】											
成果指標	指標名	基準値 (時点)	目標値 H30	達成状況 (年度末見込み)							
				H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	経常収支比率(%)	89.9 (H17)	90.0 以内	84.7	87.7	89.2	88.2	87.2	-	-	-
	実質公債費比率(%)	17.0 (H17)	15.0 以内	12.4	11.8	11.2	10.6	10.4	10.8	-	-
職員数(人)	741 (H17.10)	600人以下	630	612	600	600	600	600	589	-	-

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第6章 地方分権に対応した行財政運営

第2節 行政の広域化への対応

政策 達成度	4 (4)	【特記事項】※昨年度と評価が変更したもののみ記載。	
施策名		目標・取組み概要及び結果・分析	達成度
施策 評価	(1) 行政の広域化への対応	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①マイナンバーカードを利用し、住民票の写し、印鑑登録証明書等をコンビニエンスストアで取得できるサービスについて、29年度開始に向けた取組みを行う。</p> <p>②35年春の北陸新幹線南越駅(仮称)開業や、30年に開催される福井国体など本県への注目が増す中、広域的な観光振興の取組みが必要である。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①丹南市町では、コンビニ交付サービスが29年4月28日から住民票の写し・印鑑登録証明書等の交付が開始され、29年7月28日には戸籍・税関係の記載証明書発行が開始される。企業を訪問し出張受付設置の依頼を行ったが、理解を得られる企業が少なく、カードの申請枚数が思うように伸びなかった。今後も引き続き、企業訪問やイベント会場での申請受付だけでなく、公民館、町内会など範囲を広げて出張の申請受付を行い、普及促進を図る。</p> <p>②丹南広域観光協議会(事務局は越前市)で、丹南地域周遊滞在型観光推進計画を策定した。同計画に基づき、観光資源の強化を図りながら、越前市及び丹南地域全体で魅力度向上を目指す。</p>	4 (4)

平成28年度 越前市総合計画等達成度 内部評価票

第6章 地方分権に対応した行財政運営

第3節 電子自治体の推進

政策 達成度		4 (4)	【特記事項】※昨年度と評価が変更したもののみ記載。								
施策評価	施策名	目標・取組み概要及び結果・分析								達成度	
	(1) 電子自治体の推進	<p>【目標・取組み概要】</p> <p>①全国の自治体において、新たな情報セキュリティ対策の抜本的強化が実施され、市においても、マイナンバー利用系事務である丹南広域組合共同処理において二要素認証等の導入などを実施し、マイナンバーによる情報連携に活用されるL G W A N環境のセキュリティ確保に資するため、インターネット接続系を分離し特定通信化を実施する。また、自治体強靱化モデルの要求事項を満たすため、福井県と市町が協力して、自治体情報セキュリティクラウドを構築し必要なセキュリティ対策を講じる。</p> <p>②完全なセキュリティ予防策はないという認識のもと、当面の情報セキュリティ対策として、市職員、教職員、消防組合職員、清掃組合職員を対象に優先して研修を実施する。</p> <p>③県電子申請サービスシステムの更新により、現行の市の手続きについて移行作業を実施する。</p> <p>④コンビニ交付のサービス開始を控え、個人番号カードの普及促進を図る。</p> <p>【結果及び分析】</p> <p>①29年4月からは、全国4万8000店舗のコンビニで、いわば“いつでも、どこでも”住民票の写しなどの証明書を受け取れるようになり、7月からは、国・地方自治体のオンラインで、マイナンバーを利用した情報連携も始まる。この情報提供ネットワークシステムの稼働を見据え、国が求める地方自治体の情報セキュリティ強靱化に寄与する体制を構築することができた。</p> <p>②市職員、教職員、消防組合職員、清掃組合職員の全員を対象に「eラーニングによる情報セキュリティ研修」を実施した。</p> <p>③県電子申請サービスは、29年3月にシステムが更新され、現行の市の54手続きについて移行作業を実施した。</p> <p>④29年3月議会でコンビニ交付開始に備え、印鑑条例を改正した。また、企業を訪問し、従業員へのカード取得への協力依頼を行ったほか、イベントでの受付窓口の設置、市政出前講座の実施、公民館での出張受付、毎週火・金曜日の夜間及び毎月第2土・日曜日に受付窓口を開き、カードの交付を行った。カード交付枚数4,200枚(29年3月末見込)</p>								4 (4)	
活動指標等	実践プログラム【主な事業計画】										
	事業名	指標名	達成状況 (年度末見込み)							H29	H30
			H23	H24	H25	H26	H27	H28			
電子市役所整備事業	ふく-eねっとによる電子申請率 (%)	4.56	6.86	5.92	8.69	10.00	9.80	-	-		
電子市役所整備事業	ふく-eねっとによる施設予約率 (%)	9.89	11.19	11.88	12.82	14.18	13.87	-	-		
成果指標	実践プログラム【数値目標】										
	指標名	基準値	目標値	達成状況 (年度末見込み)							
		(時点)	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
ふく-eねっと利用件数(電子申請・インターネット施設予約)(件)	3,775(H21)	6,500	5,268	5,206	5,459	5,971	6,393	6,291	-	-	
ふく-eねっと対象施設数(インターネット施設予約)(施設数)	22(H21)	53	41	45	49	51	49	48	-	-	